

# 基本計画

## 重点施策 1

### 都市基盤

～自然と人で創り出す美しい景観のまち～

## 施策の展開

- 1 人と自然と景観に配慮した社会基盤の整備
- 2 みんなが使える高度情報化の推進

## 主要事業 1 幹線道路の整備

住民評価点	3.2	(5点満点)
職員評価点	3.5	

目的	対象	町民		
	意図	1・2級町道の整備、国県道の整備促進及び中部横断自動車道の建設促進		
主要事業目標項目 (主指標)	1・2級町道の整備状況 国県道の整備促進 中部横断自動車道の建設促進	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

#### 【町道】

- ①町道の整備については、実施計画に基づき実施
- ②中部横断自動車道 佐久南IC～(仮称)八千穂IC間の早期開通、(仮称)八千穂IC～(仮称)長坂JCT間の整備計画格上げ

#### 【国県道】

- ①国道141号高野町～下畑の歩道整備、中畑の歩道整備、清水町の歩道整備
- ②国道299号古谷バイパス整備、十石峠トンネル化、清水町～大石の歩道整備、麦草峠・十石峠の通年通行の促進
- ③主要地方道川上佐久線バイパスの推進
- ④県道下仁田佐久穂線余地峠までの整備により通行止め解除
- ⑤仮称佐久町ICアクセス道路として町道高野町上区線の整備

### めざす姿

中部横断自動車道は、関東大環状連携軸を形成する路線であり、日本海と太平洋を結ぶ広域高速道路ネットワークを形成する路線である。山間部と臨海部の物流を促進し、沿線市町村の活力ある地域づくりに貢献する。町内にインターチェンジを二箇所設置して、アクセスの利便性を向上させる。

幹線道路については、中部横断自動車道をはじめ、国道2路線、県道4路線、幹線町道の整備により、安全に安心して通行でき、地域及び住民交流の促進と道路周辺環境整備を目指す。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	長野県建設部・佐久建設事務所 国土交通省
町が他の主体に期待すること または外部要因	国県道の早期整備 中部横断自動車道の早期開通
	町内団体：町高速道対策協議会、道路整備促進期成同盟会、さくほ女性みちの会
	上部団体：中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会、県道下仁田佐久穂線道路整備促進期成同盟会
	広域：長野県道路整備期成同盟会、国道299号整備促進期成同盟会、県道下仁田佐久穂線道路整備促進期成同盟会
	間接団体：道路整備促進期成同盟会全国協議会、群馬県協議会、関東国道協会、佐久浅間農協高速道対策協議会

### 町の取組方向

- ・町道の整備については、実施計画に基づき国県の補助や起債を利用して計画的に実施する。
- ・中部横断自動車道(佐久南IC～仮称八千穂IC)の早期開通を要望していく。
- ・中部横断自動車道(仮称八千穂IC～山梨県仮称長坂JCT)の整備促進については引き続き要望活動を行う。
- ・国県道の整備については、引き続き関係団体と共に要望活動を行う。

### 主要事業の目的を達成する事業区分(事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	108110	土木総務一般経費	建設課 道水路係
一般	108210	町単道路維持改良事業	建設課 調査設計係・道水路係
一般	108213	辺地対策事業	建設課 調査設計係・道水路係
一般	108214	合併特例事業	建設課 調査設計係・道水路係
一般	108230	町単橋梁維持改良事業	建設課 調査設計係・道水路係
一般	108201	高速道路推進事業	建設課 道水路係

## 主要事業 2 生活道路の整備

住民評価点	3.0	(5点満点)
職員評価点	3.4	

目的	対象	住民		
	意図	生活道路を整備し、利便性向上に努める。		
主要事業目標項目 (主指標)	生活道路の整備状況	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

地域の生活道路の整備については、区要望箇所の調査結果について内部検討を行い、順次実施計画に計上し実施している。

橋梁の(平成23年度策定)長寿命化計画に基づき維持修繕を行う。

地域の生活道路整備として住民協働による道水路普請を推進し、原材料等を支給している。

### めざす姿

誰もが安全に安心して通行でき、地域及び住民交流を促進する道路網整備と道路周辺の環境整備に努める。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	長野県
	国土交通省
	佐久建設事務所
町が他の主体に期待することまたは外部要因	社会資本整備総合交付金等道路関係補助金の利活用

### 町の取組方向

- ・箇所採択の指針作成
- ・国県の補助事業をできるだけ導入して実施していく。
- ・平成23年度に橋梁の長寿命化計画を策定し、24年度以降は計画に基づき維持修繕を行う。

### 主要事業の目的を達成する事業区分(事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	108110	土木総務一般経費	建設課 道水路係
一般	108210	町単道路改良事業	建設課 調査設計係・道水路係
一般	108213	辺地対策事業	建設課 調査設計係・道水路係
一般	108214	合併特例事業	建設課 調査設計係・道水路係
一般	108230	町単橋梁維持改良事業	建設課 調査設計係・道水路係

## 主要事業 3 公共交通機関等の整備

住民評価点	2.8	(5点満点)
職員評価点	3.2	

目的	対象	住民	
	意図	生活維持に必要な活動を担保するための交通手段の確保	
主要事業目標項目 (主指標)	町内においてはデマンド交通の維持	設定目標(値)	デマンド運賃の現状維持
		現状(値)	一回300円

### 現状と課題

平成19年4月から運行開始したデマンド交通も、目標を上回る利用者数で推移している。一定の評価は得ているので、現行運賃を維持しながら、改善を通じてさらに使いやすい運営をめざす。  
定住自立圏構想で、他町村との接続が想定される可能性が出てきたため、前向きな協議を進める。

### めざす姿

小海線を核に、町内を網羅する交通網の構築を維持する。  
定住自立圏構想を進め、隣接市町への往来が可能となるよう検討を進める。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	佐久穂町商工会（デマンド運営）
	佐久市(定住自立圏中心市)
	JR東日本(小海線運営)
	羽黒下タクシー、八千穂タクシー（デマンド交通運行受託）
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

- ・デマンド交通を使いやすく、かつ経費削減を進めるため、利用状況を分析し改善に努める。
- ・JR小海線の高岩駅、八千穂駅、海瀬駅、羽黒下駅の利用促進並びに切符、定期券等の販売強化に努める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	102151	企画財政一般経費	総務課 企画係

## 主要事業 4 計画的な土地利用

住民評価点	2.4	(5点満点)
職員評価点	2.3	

目的	対象	住民、建設業者等	
	意図	計画的な土地利用を進め、自然環境、生活環境の適正化を図る。	
主要事業目標項目 (主指標)	都市計画制度の導入状況	設定目標(値)	都市計画区域指定
		現状(値)	区域未指定

### 現状と課題

前期計画期間において、土地利用計画は策定済みであるが、当該計画の都市地域に相当する「都市計画区域」指定が未了である。乱開発防止、住環境の改善のため、都市計画区域指定をすすめたい。

### めざす姿

区域指定による道路環境の整備と、中心市街地の空洞化対策を実施し、住宅地の郊外拡散を抑止したい。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	長野県都市計画課
	佐久建設事務所計画調査係
	都市計画審議会・総合計画審議会
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

道路を中心にした町並み整理をすすめ、空き家対策とあわせて既存住宅地の活性化を図る。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	102151	企画財政一般経費	総務課 企画係

## 主要事業 5 地域情報化の推進

住民評価点	2.9	(5点満点)
職員評価点	3.2	

目的	対象	住民		
	意図	整備済みのブロードバンド網を活用する人材の育成		
主要事業目標項目 (主指標)	PC機器類、接続関係等の経費がかかり、それらの負担能力もそれぞれ異なることから、技術習得講座開催を継続すること。	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

防災行政無線のデジタル化、光ファイバー網布設も完了し、町内どこでも高速通信ネットワークを利用できる環境が整った。次の段階として、有効活用できる人材の育成を進めると同時にブロードバンド網の活用方法を検討する。

地上波デジタル対応もおおむね対応済みであるが、まだ一部に未対応地区がある。3年後には衛星放送も終了するので、それまでには対応方法を考えなくてはならない。

### めざす姿

- ・インターネット需要のある世帯が、有効に活用できるよう、相談体制、教育環境を整える。
- ・町ホームページを中心に、携帯電話、スマートフォンを用いた情報発信も視野に入れる。
- ・全戸で地上波デジタル放送を受信できること。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	デジサポコールセンター
町が他の主体に期待すること または外部要因	パソコン同好会等、精通した人材の協力

### 町の取組方向

- ・現在、公民館でパソコン教室を年間4シリーズ開催している。1シリーズ6から10回の日程で、入門者、初心者と段階を踏んで習得できるようになっているので、この教室を継続していく。
- ・平成24年度のホームページ全面更新に伴い、登録制の情報配信制度導入を検討する。
- ・地デジ未対応世帯が現れたときは、デジサポを通じて対策を講じる。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	110510	社会教育活動事業	教育委員会 生涯学習係
一般	102153	情報化対策事業	総務課 企画係

# 基本計画

## 重点施策 2

生活環境

～安心とうるおいがある快適なまち～

## 施策の展開

- 1 おいしい水と澄んだ空気とうるおいの形成
- 2 地球環境を意識した循環型社会の推進
- 3 安全で安らぎのある住環境の形成

## 主要事業 6 自然環境の保全・整備

住民評価点	2.7	(5点満点)
職員評価点	3.0	

目的	対象	住民・企業	
	意図	自然環境保全のため、乱開発の防止、緑化促進、景観形成を進める。	
主要事業目標項目 (主指標)	自然環境の保全・整備状況 景観条例の策定状況	設定目標(値)	景観条例制定
		現状(値)	未制定

### 現状と課題

- ・環境保全条例により大規模開発行為を規制しているが住民周知が不足している。規制内容は常に検証し、必要に応じ条例改正で対応する。
- ・都市計画区域指定にあわせ、景観条例を制定し、魅力的な景観形成を進める必要がある。
- ・公共用地・道路沿い等の植栽活動をする団体に花苗を配布している。
- ・林道等への不法投棄がまだまだ見られる。
- ・福島原発事故由来の放射線が町内でも確認されている。空間放射線量を定期的に観測し、住民の安心・安全を確保する必要がある。
- ・海外資本による森林買収などから、水資源への不安が高まっており、水資源の保全について検討する必要がある。

### めざす姿

- ・環境保全条例に準じた規制により乱開発の防止を図る。環境意識の啓発を通じて、不法投棄をしない・させない、乱開発を許さないなど、環境意識の高い町づくりを目指す。
- ・水資源豊富な町として、規制と利用について調和のとれた水資源保全を図る。
- ・都市計画区域の指定に併せて、景観条例を制定し、美観向上の視点からまちづくりを進める。
- ・花のまちづくりが町内全域に広がり、町内随所で花が咲き誇るまちづくりを目指す。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	佐久地方事務所環境課・建築課
	自然保護課・廃棄物対策課・建築指導課景観係
町が他の主体に期 待すること または外部要因	国・県の放射線対策を確認し、迅速に必要な状況を得る必要がある。
	県の景観計画、景観条例と町の景観計画、景観条例の整合性確認
	景観行政団体として県の同意が必要
	花のまちづくりについて住民意識が高揚し、協力団体が増えること。

### 町の取組方向

- ・森林・水源等を含め、自然環境・生活環境の保全について住民意識高揚を図る。開発行為の規制・指導を的確に実施する。また、住民への周知も行う。
- ・環境保全審議会を立ち上げ、水資源保全に関して条例の整備を検討する。
- ・定期的に、町内での空間放射線量を測定・公表する。
- ・都市計画区域指定の動向を見きわめ、景観行政団体移行の準備を進める。
- ・毎年、花苗購入の予算を確保し、各種団体に花苗を無償提供する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	104130	生活環境事業	住民税務課 生活環境係
	104210	清掃総務費	住民税務課 生活環境係



## 主要事業 7 河川の保全整備

住民評価点	2.5	(5点満点)
職員評価点	2.8	

目的	対象	住民		
	意図	河川の整備を行い、安全安心な環境づくりを進める。		
主要事業目標項目 (主指標)	準用河川・普通河川の整備進捗	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

河川パトロールや区要望に基づき、住宅地域等で護岸石積のひび割れ、崩落等が見られる危険箇所から整備を行い、住民の安全を図っている。  
災害を最小限にするため河床整理等の維持管理に努めている。

### めざす姿

災害に強い河川の整備

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	長野県
	国土交通省
	佐久建設事務所
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

危険箇所は実施計画に計上し、早期対応により被害の拡大を最小限にとどめる。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	108309	河川維持改良事業	建設課 調査設計係

## 主要事業 8 ごみの減量化、リサイクルの推進

住民評価点	3.5	(5点満点)
職員評価点	3.3	

目的	対象	全町		
	意図	ごみの減量化、リサイクルを推進し、生活環境の保全に努める。		
主要事業目標項目 (主指標)	佐久穂町一般廃棄物処理計画	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

平成19年度に清掃センター焼却炉を廃止した後、可燃ごみについては焼却・最終処分を民間委託している。容器包装プラスチック、びんについては、容器包装リサイクル協会を通じてリサイクルを行っている。古紙、ペットボトル、空き缶、布類、その他プラスチックは、清掃センターで中間処理の後、処理を民間委託している。

ごみ処理にかかるコスト削減が必要。処理だけでなく、排出される廃棄物の量をいかに減らすか(リデュース)が課題となる。

### めざす姿

これまで以上に分別収集を徹底し、住民の意識を高め、再資源化できる部分を増やす。リデュース・リユース・リサイクルの3Rを進める。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	容器包装リサイクル協会
町が他の主体に期待 すること または外部要因	新ごみ処理施設の稼働

### 町の取組方向

- ・新ごみ処理施設での廃棄物処理について準備を進める。分別収集の徹底を引き続き進める。
- ・処理費用、3R、コンポスター使用などに関する情報発信を行い、住民意識の高揚を図る。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	104210	清掃総務費	住民税務課 生活環境係
一般	104220	塵芥処理費	住民税務課 生活環境係

## 主要事業 9 新エネルギー事業の推進

住民評価点	2.4	(5点満点)
職員評価点	2.5	

目的	対象	住民	
	意図	新エネルギーの推進により、地球温暖化防止と再生可能エネルギーの普及を図る。	
主要事業目標項目 (主指標)	新エネルギーの研究・普及促進状況	設定目標(値)	太陽光発電の普及
		現状(値)	太陽光発電の普及

### 現状と課題

平成21年度から実施している太陽光発電システム設置補助金は、平成24年度で一旦終了となるが、その後も同様の補助金が継続できるかが課題である。

### めざす姿

新エネルギーの中から、太陽光、小水力発電、バイオマス活用など、地域特性に合致したものを推進し普及を図る。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	経済産業省(J-PEC補助金)
	農林水産省
町が他の主体に期待すること または外部要因	小水力発電にかかる各種許認可等の簡素化

### 町の取組方向

- ・公共施設への太陽光発電システム設置など積極的に取り組む。小水力発電などの実現可能な新エネルギーの検討を進める。平成24年度から発電量の全量買取制度が開始する見込である。その買取価格の設定次第で導入事業の検討が進むものと期待される。
- ・佐久地域は晴天率が高いという地域特性があり、太陽光発電が有効であることから、国の動向も注視しながら、25年度以降も補助を継続させたい。

### 主要事業の目的を達成する事業区分(事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	104130	生活環境事業	住民税務課 生活環境係

## 主要事業 10 環境美化活動の推進

住民評価点	2.8 (5点満点)
職員評価点	3.3

目的	対象	全町		
	意図	環境美化のため、不法投棄の発見、防止に努めるとともに、学習、啓発活動を行う。		
主要事業目標項目 (主指標)		設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

ごみの不法投棄やポイ捨てが後を絶たず、環境を損ねる原因となっている。町では、おおむね大字単位ごとに不法投棄監視員を委嘱し、月2回程度区域内の見回りを依頼している。年に一度のゴミゼロ運動を通じて、自ら環境を保全する意識啓発を実施している。

### めざす姿

環境に対する住民意識の向上から、ごみの不法投棄などあらゆる環境悪化を住民一人一人が防止していく社会

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	地方事務所環境課
	警察署
町が他の主体に期待 すること または外部要因	一般廃棄物処理法等での規制

### 町の取組方向

ごみの減量化不足、不法投棄、水質・大気汚染、愛玩動物の糞害など、環境悪化に対する学習啓発活動を実施し、環境保全意識の向上を図る。

併せて不法投棄を未然に防ぎ、また速やかに発見するための監視員による監視活動を継続する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分(事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	104210	清掃総務費	住民税務課 生活環境係
一般	104130	生活環境事業	住民税務課 生活環境係

## 主要事業 11 地域消防活動の推進

住民評価点	3.4	(5点満点)
職員評価点	3.5	

目的	対象	住民		
	意図	住民の生命、身体及び財産を保護する。		
主要事業目標項目 (主指標)	災害予防、災害応急対策、災害復旧・復興 治水・砂防の充実	設定目標(値)	地域防災計画改訂	
		現状(値)	未改訂	

### 現状と課題

佐久穂町消防団では、消防団員の確保難をはじめ、町外で働く団員が多いことによる昼間の災害対策など、急ぎ対応しなければならない多くの問題が山積している。

消防団ではそれらの対策の一つとして、機能別消防団員の制度を導入しているが、団員の確保は今後一層厳しいものになることが予想されるとともに、災害もまた大規模化・広域化の様相を呈していることから、さらなる消防力の強化が求められる。

日頃の、消防訓練並びに人命捜索、火災現場等の対応については、佐久広域連合消防本部及び地域所轄の北部消防署と連携し行っている。

### めざす姿

- (1) 町消防団の体制は地域に密着した体制となっているが、今後も消防施設、設備及び人員の増強を図るとともに、防災訓練を含めた各種訓練を積極的に行う。
- (2) 発災初期において、重要な役割を果たす消防団員の初動体制の整備を図る。
- (3) 消防団員は年々減少する傾向にあるので、啓発活動により若者、女性の加入促進を図り、消防団活性化の推進と育成強化を図る。
- (4) 消防団の役割と地域の実情に応じた消防団体制、分団編成等について検討していく。
- (5) 常備消防と連携を保ち、消防防災活動の充実を図っていく。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	佐久広域連合消防本部（北部消防署）、長野県（佐久地方事務所、佐久建設事務所、佐久警察署等）、関東農政局、中部森林管理局、東京管区气象台、長野労働局、国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所、関東地方整備局長野国道事務所、陸上自衛隊第13普通科連隊
町が他の主体に期待すること または外部要因	東日本大震災及び原発事故を踏まえた、国、県の防災方針の見直し

### 町の取組方向

めざす姿を達成するために、上記を踏まえた佐久穂町地域防災計画の見直し作業を進める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	102121	無線広報一般経費	総務課 庶務係
一般	109110	常備消防費	総務課 庶務係
一般	109120	非常備消防等一般経費	総務課 庶務係
一般	109130	消防設備一般経費	総務課 庶務係
一般	109140	災害対策一般経費	総務課 庶務係

## 主要事業 1.2 災害予防対策の推進

住民評価点	3.4	(5点満点)
職員評価点	3.5	

目的	対象	住民	
	意図	住民の生命、身体及び財産を保護する。	
主要事業目標項目 (主指標)	災害予防、災害応急対策、災害復旧・復興 治水・砂防の充実	設定目標(値)	地域防災計画改訂
		現状(値)	未改訂

### 現状と課題

佐久穂町は、地理的条件から、雨による災害が最も懸念される。森林地帯が広く、特に水源地である林野地帯には荒廃地も多く、豪雨時の貯水機能が低下していると思われるうえ、近年集中豪雨が頻発していることも不安要因である。地震による地すべりや土砂崩れ、がけ崩れによる基幹交通網の寸断による孤立化も懸念され、これらが同時発生する複合的災害に対する対策が求められている。

前期計画期間内には、防災行政無線のデジタル化が完了し、あわせて、孤立が懸念される地区と防災無線の子局を利用して、双方向で通信が可能となった。また、雨量等監視システムの導入を図り、町内5カ所の雨量がリアルタイムで計測できる体制となった。

### めざす姿

町内における構造物・施設等について、防災基本計画の基本的考え方を踏まえ、耐震性の確保を図るとともに、地域の特性に配慮しつつ、地震防災緊急事業五箇年計画等に基づき、建築物の安全性、ライフライン施設等の機能の確保等、地震に強いまちづくりを行う。

町は、地域の特性に配慮しつつ、交通・通信施設の風水害に対する安全性の確保、治山、治水事業等の総合的、計画的推進等風水害に強い郷土を形成し、建築物の安全性確保、ライフライン施設等の機能の確保等風水害に強いまちづくりを推進する。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	佐久広域連合消防本部（北部消防署）、長野県（佐久地方事務所、佐久建設事務所、佐久警察署等）、関東農政局、中部森林管理局、東京管区气象台、長野労働局、国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所、関東地方整備局長野国道事務所、陸上自衛隊第13普通科連隊
町が他の主体に期待すること または外部要因	東日本大震災及び原発事故を踏まえた、国、県の防災方針の見直し

### 町の取組方向

めざす姿を達成するために、上記を踏まえた佐久穂町地域防災計画の見直し作業を進める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	102121	無線広報一般経費	総務課 庶務係
一般	109110	常備消防費	総務課 庶務係
一般	109120	非常備消防等一般経費	総務課 庶務係
一般	109130	消防設備一般経費	総務課 庶務係
一般	109140	災害対策一般経費	総務課 庶務係

## 主要事業 13 災害復旧・復興対策の推進

住民評価点	3.4	(5点満点)
職員評価点	3.5	

目的	対象	住民	
	意図	住民の生命、身体及び財産を保護する。	
主要事業目標項目 (主指標)	災害予防、災害応急対策、災害復旧・復興 治水・砂防の充実	設定目標(値)	地域防災計画改訂
		現状(値)	未改訂

### 現状と課題

佐久穂町は、地理的条件から、雨による災害が最も懸念される。森林地帯が広く、特に水源地である林野地帯には荒地も多く、豪雨時の貯水機能が低下していると思われるうえ、近年集中豪雨が頻発していることも不安要因である。

地震による地すべりや土砂崩れ、がけ崩れによる基幹交通網の寸断による孤立化も懸念され、これらが同時発生する複合的災害に対する対策が求められている。

東日本大震災を教訓とし、従来想定外とされていた事態も含めて防災対策を再構築する必要性に迫られている。

### めざす姿

被災者の生活再建を支援し、再度災害の防止に配慮した施設の復旧等を図り、より安全性に配慮した地域振興のための基礎的な条件づくりを目指すため、復旧・復興の基本方針を決定し、その推進に当たり必要な場合は、他の地方公共団体の支援を要請する。

被災者の生活再建を支援し、より安全性に配慮した復興を目指すためには、まず公共施設等の迅速な現状復旧や災害によって生じたがれき等の適切な処理が求められる。

町及び関係機関は、可能な限り迅速な原状復旧を図る。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	佐久広域連合消防本部（北部消防署）、長野県（佐久地方事務所、佐久建設事務所、佐久警察署等）、関東農政局、中部森林管理局、東京管区气象台、長野労働局、国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所、関東地方整備局長野国道事務所、陸上自衛隊第13普通科連隊
町が他の主体に期待することまたは外部要因	東日本大震災及び原発事故を踏まえた、国、県の防災方針の見直し

### 町の取組方向

めざす姿を達成するために、上記を踏まえた佐久穂町地域防災計画の見直し作業を進める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	102121	無線広報一般経費	総務課 庶務係
一般	109110	常備消防費	総務課 庶務係
一般	109120	非常備消防等一般経費	総務課 庶務係
一般	109130	消防設備一般経費	総務課 庶務係
一般	109140	災害対策一般経費	総務課 庶務係



## 主要事業 14 災害避難体制の構築

住民評価点	3.4	(5点満点)
職員評価点	3.5	

目的	対象	住民		
	意図	住民の生命、身体及び財産を保護する。		
主要事業目標項目 (主指標)	災害予防、災害応急対策、災害復旧・復興 治水・砂防の充実	設定目標(値)	地域防災計画改訂	
		現状(値)	未改訂	

### 現状と課題

佐久穂町は、地理的条件から、雨による災害が最も懸念される。森林地帯が広く、特に水源地である林野地帯には荒廃地も多く、豪雨時の貯水機能が低下していると思われるうえ、近年集中豪雨が頻発していることも不安要因である。

地震による地すべりや土砂崩れ、がけ崩れによる基幹交通網の寸断による孤立化も懸念され、これらが同時発生する複合的災害に対する対策が求められている。

東日本大震災を教訓とし、従来想定外とされていた事態も含めて防災対策を再構築する必要に迫られている。

### めざす姿

水害やがけ崩れ、火災の延焼などにより、大きな被害を生ずるおそれがあり、生命に危険が及ぶような場合は、危険な区域の住民は速やかに安全な場所に避難することが必要となる。

このような事態に備え、迅速かつ円滑な避難活動を確保するため、「住民支え合いマップ」を始めとする災害時要援護者及び帰宅困難者、滞留旅客に配慮した避難計画の作成、各種災害への安全性を考慮した避難場所の確保、応急仮設住宅の迅速な供給体制の整備、学校等における迅速かつ適切な避難活動のための計画策定等を進める。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	佐久広域連合消防本部（北部消防署）、長野県（佐久地方事務所、佐久建設事務所、佐久警察署等）、関東農政局、中部森林管理局、東京管区気象台、長野労働局、国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所、関東地方整備局長野国道事務所、陸上自衛隊第13普通科連隊
町が他の主体に期待すること または外部要因	東日本大震災及び原発事故を踏まえた、国、県の防災方針の見直し

### 町の取組方向

めざす姿を達成するために、上記を踏まえた佐久穂町地域防災計画の見直し作業を進める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	102121	無線広報一般経費	総務課 庶務係
一般	109110	常備消防費	総務課 庶務係
一般	109120	非常備消防等一般経費	総務課 庶務係
一般	109130	消防設備一般経費	総務課 庶務係
一般	109140	災害対策一般経費	総務課 庶務係



## 主要事業 15 交通安全対策の推進

住民評価点	3.3	(5点満点)
職員評価点	3.3	

目的	対象	住民		
	意 図	町民の安全で快適な生活環境を実現するため交通安全意識の高揚に努める。		
主要事業目標項目 (主指標)	高齢者の交通事故防止啓発の実施状況	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

佐久穂町の高齢者の占める割合が高まる中で、安全で快適な生活環境を実現するためには、一層の高齢者への交通事故防止啓発が必要と考えられる。  
 統合小中学校建設が進められており、通学路安全対策が喫緊の課題である。

### めざす姿

啓発により、ソフト面（特に高齢者）とハード面、両面での交通安全の意識の向上と知識の普及に努める事で、佐久穂町の交通事故・交通死亡事故ゼロをめざす。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	佐久警察署
	佐久地方事務所地域政策課県民生活係
	佐久建設事務所維持管理課管理係
	佐久穂町交通安全協会
	佐久穂町防犯協会
町が他の主体に期待 すること または外部要因	

### 町の取組方向

警察・県機関と連携し、主に高齢者を対象とした交通安全啓発の実施に取り組む。  
 今後は、統合小中学校建設に併せ、通学路安全対策の検討と安全な通学方法の指導啓発について検討を進める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	102191	交通安全対策一般経費	総務課 庶務係
一般	108220	町単交通安全対策事業	建設課 道水路係

## 主要事業 16 防犯対策の推進

住民評価点	3.0	(5点満点)
職員評価点	3.2	

目的	対象	住民		
	意図	防犯灯の充実と、防犯協会への助成を通じて、犯罪抑止環境を整える。		
主要事業目標項目 (主指標)	蛍光灯型の防犯灯を順次LED灯に交換する。 防犯協会助成を継続する。	設定目標(値)	LED灯約600基 補助金800千円	
		現状(値)	蛍光灯628基 補助金800千円	

### 現状と課題

町の街灯数は、平成23年度現在2,360基である。(水銀灯1,532基、蛍光灯628基、その他ナトリウム灯など200基)平成17～19年度に蛍光灯から水銀灯への交換や水銀灯新設など、街灯整備事業は完了している。

防犯協会では補助事業として、防犯指導員及び防犯女性部による夜間パトロール、清掃活動を実施している。指導員、女性部、学校PTA以外の自主的活動がさらに求められる。

### めざす姿

現在街灯で使用している照明機器をLED照明機器に順次交換することにより、電気料金の削減及び二酸化炭素排出量削減を目指したい。

夜間照明の充実と防犯協会活動の浸透による地域住民の防犯意識の高揚及び地域住民による自主的な防犯活動の推進により犯罪のない佐久穂町を実現したい。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	佐久警察署
	佐久防犯協会連合会
	佐久穂町内警察官駐在所
	佐久穂町交通安全協会
	佐久穂町防犯協会
町が他の主体に期 待すること または外部要因	

### 町の取組方向

古くなった蛍光灯型照明機器をLED照明機器に順次交換していく。  
防犯協会活動事業補助金の交付を継続し、活動を支援する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分(事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	102149	街灯管理経費	総務課 管財係
一般	102110	総務一般経費	総務課 庶務係

## 主要事業 17 消費者の保護

住民評価点	2.8	(5点満点)
職員評価点	3.0	

目的	対象	住民		
	意図	消費生活に関する安心安全確保に努める。		
主要事業目標項目 (主指標)	情報提供し消費生活に関する安心安全確保	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

消費者庁が発足し、消費者行政活性化事業補助金を活用し、高齢者との悪質商法被害防止を中心とした啓発事業や相談者のプライバシー保護できる「相談室」を設置し、身近な相談室として対応できる体制整備が図られた。しかし、高齢者などには消費生活のトラブル被害を役場の相談窓口では相談しづらい可能性もあり、情報提供と家庭や地域での見守りの推進が必要である。

### めざす姿

架空請求、点検商法、振り込め詐欺、ワンクリック詐欺、マルチ商法、催眠商法、送り付け商法など、郵便、電話、携帯電話やPCなどを使った詐欺や悪質商法が増加しており、こうした消費者トラブルから住民を保護するため、消費生活情報の周知を図るとともに、関係団体、家庭、地域が連携を取り合い、被害の未然防止に努める。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	消費者庁
	国民生活センター
	県消費生活室・上田消費生活センター
町が他の主体に期待 すること または外部要因	佐久地域の消費生活センター設置→地域での合意や負担金が生じる可能性有

### 町の取組方向

トラブルにつながりかねない情報を、町民を始め、消費生活センターなどから常に収集発信し、家庭、地域（民生委員、ヘルパーなど）などの見守りや相談活動を通じて、住民、特に高齢者の悪質商法被害を未然に防止するよう努める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	102110	総務一般経費	総務課・庶務係

## 主要事業 18 公営住宅の整備

住民評価点	2.9	(5点満点)
職員評価点	2.8	

目的	対象	住民	
	意図	住宅を必要とし、かつ家賃が低額であることが望ましい者に住宅を提供する。	
主要事業目標項目 (主指標)	現存施設の保全及び教職員住宅の運用	設定目標(値)	130戸
		現状(値)	129戸

### 現状と課題

町が管理している町営住宅の戸数は、平成24年3月末現在で129戸である。内訳は、公営住宅法に基づく住宅が41戸、町単独住宅が30戸、特定公共賃貸住宅が22戸、若者定住促進住宅が8戸、厚生住宅が12戸、教職員住宅が16戸となっている。教職員住宅を除く住宅については、入居率が90パーセントを越えて推移しているのに対し、教職員住宅は約半数が空室となっている。また、施設の老朽化等により、修繕費が年々増加している。

### めざす姿

統合小中学校の建設によって、教職員住宅の需要は下がり、利用率は更に低くなることが予想される。利用率の低い教職員住宅を一般の町営住宅に用途変更することにより、需要に対応したい。

町営住宅の建設等は、多額の費用がかかる割に受益者が少ない。また、民間のアパートは入居率が低い現状から、新規の町営住宅建設や住宅団地造成は当面見合わせ、民間アパートの活用方法を検討する。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	長野県建設部住宅課
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

現存する町営住宅の維持管理を行う。教職員住宅から一般町営住宅への用途変更を進める。民間アパートの活用方法を検討する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	108511	町営住宅管理一般経費	総務課 管財係
一般	108512	厚生受託管理一般経費	総務課 管財係
一般	108513	教職員住宅管理一般経費	総務課 管財係
宅造	9001	住宅地造成事業特別会計	建設課 道水路係

## 主要事業 19 公園、広場の整備

住民評価点	3.2	(5点満点)
職員評価点	3.3	

目的	対象	住民	
	意図	住民の福利厚生と生活環境並びに体力の向上を目的とする。	
主要事業目標項目 (主指標)	公園、広場の利便性の向上と充実	設定目標(値)	
		現状(値)	

### 現状と課題

「元気が出る公園」に関してはマレットゴルフ場の改修も終え、公園施設の大枠は整ったので、今後は細部の利用環境改善に努める。水道水を供給する地下タンク室内のポンプに劣化が見られる。花岡遺跡公園、月見公園、桜町児童公園、余地ダム公園、愛宕公園、城山公園の6公園については、地元区により良好に管理されている。平成23年度までに、小規模児童公園の遊具更新が完了した。

### めざす姿

「元気が出る公園」については、観賞用の公園にしたいという要望もあるが、委託先のシルバー人材センターと協議しながら、子どもから大人まで楽しめるアクティブ型の公園づくりを目指したい。6公園と地区の小規模児童公園については、地域に愛される公園づくりを進めたい。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	佐久水道企業団
町が他の主体に期待すること または外部要因	水道広域化計画（大張・影水源） 若しくは上野地区から高速道路用側道を経由しての配水

### 町の取組方向

「元気が出る公園」は、公園下部の地下受水槽より公園上部の高架水槽へ圧送して、配水を行っている。地下タンク室内のポンプの劣化、上部受水槽の維持管理面から、公園上部側からの配水系統に改良したい。その他「6公園」並びに小規模児童公園については、引き続き地元区に管理を依頼し、経費負担を軽減しながら、地元で愛される公園づくりを進める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	104140	公園管理事業	教育委員会・生涯学習係

## 主要事業 20 上水道の安全安定供給

住民評価点	3.8	(5点満点)
職員評価点	3.6	

目的	対象	住民・企業	
	意図	水源の保全、供給施設等の整備を行い、上水道の安全安定供給に努める。	
主要事業目標項目 (主指標)	水道普及率	設定目標(値)	99.2
		現状(値)	98.57

### 現状と課題

上水道事業は、平成21年度から東地区簡易水道外3簡易水道が佐久水道へ移管され、佐久穂町の92%が佐久水道企業団から給水を受けている。佐久水道企業団では水需要の増加に伴い新たな水源確保と計画的な管路整備を行い水の安定供給に努めている。筆岩飲供、千代里飲供、松井簡給、八千穂高原簡水の4地区については、今後も町営水道施設による給水が必要となるため、引き続き給配水施設の維持管理が必要になる。

地区によって、降雨時に泥砂の混入が見られることがあり改善を要する。

### めざす姿

将来にわたり、安全な水を安定的に供給する。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	佐久水道企業団
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

- ・水資源の確保-水源地保全のため、森林の育成や維持を促進する。
- ・町営水道施設の整備-安定した水を供給するため、施設の適正な維持管理を図る。
- ・宿岩簡水を運営する北部水道組合との将来的な経営に関する継続協議
- ・泥砂混入防止対策を佐久水道企業団に要請する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	104133	上下水道事業	建設課 上下水道係
簡水	63210	一般会計償還金	建設課 上下水道係

## 主要事業 21 下水道などの整備促進

住民評価点	3.4	(5点満点)
職員評価点	3.4	

目的	対象	住民・企業	
	意図	河川の水質保全と快適な生活環境を図るため、地域の実情に応じた水洗化を促進する。	
主要事業目標項目 (主指標)	水洗化率	設定目標(値)	79.4
		現状(値)	76.1

### 現状と課題

生活排水事業により、農業集落排水(大久保・上野・佐口、上、花岡・崎田、うそのくち)4処理区、公共下水道(南佐久環境衛生組合)1処理区が供用可能区域となっているが、区域内のつなぎ込み世帯は72%であるため、今後も接続率向上に努め、下水道経営の安定化を図る必要がある。

合併処理浄化槽は家屋が散在する地域において生活排水対策の有効な手段となっており、農集排、公共下水道区域以外の地域での設置を推進するとともに維持管理体制の強化が必要とされる。

### めざす姿

全戸水洗化に向け、地域の実情に応じた排水処理を推進するとともに、適切な維持管理に努め、河川の水質保全と快適な生活環境の創出を図る。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	南佐久環境衛生組合
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

人口の減少や厳しい財政状況等を踏まえ、農業集落排水施設の老朽化に伴う維持管理費等の増大を総合的に判断し、公共下水道への統合を計画的に実施するよう検討を進める。

公共下水道処理区域内で、合併処理浄化槽を利用している家庭については、公共下水道への接続を促す。

### 主要事業の目的を達成する事業区分(事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	104132	合併処理浄化槽設置事業	建設課 上下水道係
一般	104133	上下水道事業	建設課 上下水道係

# 基本計画

## 重点施策 3

### 産業振興

～生きがいと活力を育む魅力ある産業のまち～

## 施策の展開

- 1 地域が育む産業の振興
- 2 農林業の多面的機能の拡大
- 3 自然と人がもてなす観光地づくり
- 4 若者の雇用の促進



## 主要事業 22 既存産業の連携と活性化

住民評価点	2.5	(5点満点)
職員評価点	2.6	

目的	対象	住民・企業		
	意図	地域特性を活かした商工業、農林業、観光の連携強化		
主要事業目標項目 (主指標)	農商工観の連携強化	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

不景気の影響で経営状況が悪化している町内企業は、それぞれが経営状況の更なる悪化を防ぐべく取り組んでいる現状である。特産品開発等の面で連携を図り新たな特産品を発掘しているが、町内企業で積極的に取り組む事業所が少ない。

### めざす姿

農商工観が連携して特産品開発等の新たな産業を生み出し、町経済の活性化につなげる。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	佐久穂町商工会
町が他の主体に期待すること または外部要因	商工会が主体となり、町経済の活性化に取り組む。

### 町の取組方向

さらなる商工業者への支援策の拡充・町経済活性化を図るべく、より商工会等の関係機関との連携を図る。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	107110	商工一般経費	産業振興課 商工観光係

## 主要事業 23 新産業の創出支援

住民評価点	2.1	(5点満点)
職員評価点	2.1	

目的	対象	住民・企業		
	意図	創業、新分野への進出支援 優良企業の誘致		
主要事業目標項目 (主指標)	優良企業の町内への誘致	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

景気低迷により新たな事業に取り組む事業所は見られない。  
また、企業誘致については、過去数件の企業から相談はあったものの誘致までには至っていない。企業支援条例、企業立地促進条例の制定により、用地取得、事業所設置、雇用促進事業に補助事業が創設された。

### めざす姿

新たな産業が創出されること。優良企業が進出すること。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	長野県
町が他の主体に期待 すること または外部要因	新規産業や創業者に対する支援策の拡充
	工業団地のPR

### 町の取組方向

- ・創業者への支援策の新設
- ・佐久穂町の地理的条件を活かした、優良企業の誘致を継続する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	107110	商工一般経費	産業振興課 商工観光係

## 主要事業 24 商工業の振興

住民評価点	2.4	(5点満点)
職員評価点	2.6	

目的	対象	企業・住民		
	意図	地域の購買力強化・魅力ある商店街作り		
主要事業目標項目 (主指標)	地元商店街の活性化	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

商品券事業をスタートし、町内の経済活性化を図ってきたところであるが、目に見える形での効果は出ていない。商店街においても空き店舗が増えている。また、不景気の影響で業績悪化の企業が多いため支援策の拡大について検討が必要である。

### めざす姿

商工会が主体となり商店企業の活性化を図り、住民が地元商店を利用し、商店が元気を取り戻すことによる町経済の活性化をめざす。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	佐久穂町商工会
町が他の主体に期待すること または外部要因	商店街との懇談会等の開催や意見交換 商工会主体の経済活性化策の展開

### 町の取組方向

- ・商品券事業を継続的に取組み、地域の商店・企業での購買力の強化対策を進める。
- ・商工会と連携し、既存商店街の衰退を防止する対策を強化する。
- ・県・町制度資金等の支援策の拡充を検討する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	107110	商工一般経費	産業振興課 商工観光係

## 主要事業 25-1 農業生産基盤の整備

住民評価点	2.3	(5点満点)
職員評価点	2.9	

目的	対象	農業者		
	意図	農業生産基盤の充実		
主要事業目標項目 (主指標)	農業生産基盤の整備促進	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

営農意欲の高い地域を中心に農道・農業用水路の整備と維持、土地改良事業、農地・水保全管理支払交付金事業、土地改良施設維持管理適正化事業、佐久南部広域農道補完事業を実施している。  
 農業用道水路の改修について、緊急性の高い順に可能な補助事業を導入し、実施計画を策定して実施する。  
 農業後継者不足と農業経営者の減少から農地の荒廃化と維持管理されない道水路施設への対応が課題となっている。

### めざす姿

農業用施設（農道・水路等）の整備を行い、農家の維持管理に係る経費を削減し、農業経営の安定を図る。  
 農地や里山の保全については、住民と協力し、地域の特性を活かした自然に優しい取り組みを推進するとともに、郷土の原風景である田園風景の再生をめざす。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	長野県
	農林水産省
	佐久地方事務所農地整備課      長野県土地改良団体連合会
町が他の主体に期待すること または外部要因	事業の適正執行

### 町の取組方向

農道や用排水路の整備修繕については、区や水利組合からの要望箇所を調査し、破損状況等を内部検討したうえで、実施計画に計上し、順次実施していく。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	106152	農地費一般経費	建設課 調査設計係・道水路係
一般	106155	町単土地改良事業	建設課 調査設計係
一般	106156	土地改良施設維持管理適正化事業	建設課 調査設計係
一般	106158	佐久南部広域農道補完事業	建設課 調査設計係・道水路係

## 主要事業 25-2 農業生産基盤の整備

住民評価点	2.3	(5点満点)
職員評価点	2.9	

目的	対 象	町内農業者	
	意 図	・ 鳥獣被害防止を進め、野生鳥獣による農林業被害の防止及び保全に努める。	
主要事業目標項目 (主指標)	・ 有害鳥獣被害防止 (小規模型・組織型)	設定目標(値)	
		現状(値)	

### 現状と課題

- ・ 近年、イノシシ、ニホンジカ、ハクビシン、カラス、スズメ、ハト、カワウ等の生息分布域の拡大及び過疎化や高齢化による耕作放棄地の増加等に伴い、鳥獣による農林業被害は中山間地域の多い当町のみならず、全国的に深刻化している。
- ・ 鳥獣害による農作物被害も深刻な状況で、平成22年度においては、町が把握しているだけで被害面積は20ヘクタール、被害金額は2千167万円余りとなっている。
- ・ 町では新規狩猟免許取得者に対し、取得費用の一部として1万円の補助を実施している。

### めざす姿

- ・ 遊休荒廃地の増加抑制
- ・ 農林業鳥獣被害の減少

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	
町が他の主体に期 待すること または外部要因	

### 町の取組方向

- ・ 各集落による組織的なシカ柵設置を促進し、野生鳥獣被害を防止する。
- ・ 南佐久郡6町村共同で策定した「南佐久郡鳥獣被害防止計画」により、鳥獣被害防止対策に取り組む。
- ・ 農地侵入をシカ柵等により防止する「防除対策」を進める。
- ・ 猟友会との協力による「捕獲対策」を進める。
- ・ 加害鳥獣が出没しにくい集落環境とするなどの「生息環境対策」を進める。
- ・ ニホンジカ駆除及び狩猟免許取得補助の継続

### 主要事業の目的を達成する事業区分 (事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	106130	農業振興一般経費	産業振興課 農政係

## 主要事業 26 農業の担い手育成支援

住民評価点	2.0	(5点満点)
職員評価点	2.6	

目的	対象	認定農業者、新規就農者等の農業後継者		
	意図	地域における農業の担い手育成・支援		
主要事業目標項目 (主指標)		<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者の育成・支援強化</li> <li>農業生産法人の活用支援</li> <li>新規就農研修センター運営等による新規就農者育成</li> </ul>	設定目標(値)	新規就農者の増加
			現状(値)	無指定

### 現状と課題

佐久穂町の農業構造については、昭和30年代から40年代後半にかけての高度経済成長を背景とする他産業への雇用機会の増大により兼業化が進み、恒常的勤務による安定兼業農家が増大し、農業の担い手不足、農地の遊休荒廃化が深刻化している。

### めざす姿

佐久穂町及び周辺市町村において現に成立している優良な経営の事例を踏まえつつ、農業経営の発展を目指し農業を主業とする農業者が、地域における他産業従事者並みの生涯所得に相当する年間農業所得（主たる農業従事者1人当たり500万円程度）、年間労働時間（主たる農業従事者1人当たり2200時間程度）の水準を実現できるものとし、また、これらの経営が当町農業生産の相当部分を担う農業構造を確立していくことを目指す。またこのような農業者への農地の利用集積を進める。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	佐久地方事務所農政課、佐久農業改良普及センター、長野県担い手育成基金
	関東農政局長野地域センター
	佐久浅間農業協同組合
町が他の主体に期待すること または外部要因	主力の担い手農家への支援体制の強化
	匠の技伝承事業の普及促進

### 町の取組方向

佐久穂町農業委員会、佐久浅間農業協同組合、佐久農業改良普及センター、東信農業共済組合等と連携を図りながら、農業者支援を進める。

担い手不足に対しては、人・農地プランに基づく補助事業を導入し、若い新規就農者の受け入れを行う。「匠の技伝承事業」を通じて、すぐれた農業技術の世代間共有を進める。

農地の遊休荒廃地化に対しては、改正農地法による農地パトロールの実施を行い、農地の貸し借りの促進を図る。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	106130	農業振興一般経費	産業振興課 農政係
一般	106136	中山間地直接支払事業	産業振興課 農政係

## 主要事業 27 循環型農業の推進

住民評価点	2.1	(5点満点)
職員評価点	2.3	

目的	対象	町内農業者及び畜産農家		
	意図	大気や水質の浄化機能など本来農業の持つ環境保全能力を増進させた自然と共生する農業を推進し、消費者が求める安全・安心な農産物づくりを支援する。		
主要事業目標項目 (主指標)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・八千穂有機生産組合が運営する土づくりセンター（堆肥生産）を核とした循環型農業の普及</li> <li>・環境保全型農業の普及</li> </ul>	設定目標(値)	環境保全型農業に取り組む農業者等の増加
			現状(値)	環境保全型農業直接支払交付申請者：9名(H23)

### 現状と課題

- ・生産性や品質の向上、低コスト化の追求により、化学肥料や化学合成農薬に過度に依存した農業生産活動が増加
- ・糞尿による良質な堆肥を生産し、糞尿を資源として循環させる有機的農業が減少傾向
- ・農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献していくことが重要

### めざす姿

- ・米や野菜等を生産している耕種農家へ畜産農家から堆肥を供給し、逆に転作田等で飼料作物を生産し、畜産農家の家畜の飼料として供給する等、耕種サイドと畜産サイドの連携を図る。
- ・地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動の普及拡大を図る。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	佐久浅間農業協同組合
	八千穂有機生産組合（土づくりセンターを運営している町内の酪農家で組織している組合）
	佐久地方事務所農政課、関東農政局長野地域センター
町が他の主体に期待すること または外部要因	有機性資源の利用による、土づくりの推進
	環境保全型農業直接支払交付金の継続

### 町の取組方向

- ・佐久浅間農業協同組合及び八千穂有機生産組合と連携し、耕種農家に対し堆肥供給の確立を図る。
- ・飼料作物生産者の確保を図る。
- ・環境保全型農業に取り組む農業者等に対する直接的な支援の実施を検討する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	106130	農業振興一般経費	産業振興課 農政係

# 主要事業 28 都市と農村の体験型交流の推進

住民評価点	2.2	(5点満点)
職員評価点	2.7	

目的	対象	町内農業者、都市住民		
	意図	・「グリーン・ツーリズム」による都市と農村の交流促進		
主要事業目標項目 (主指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市との体験型交流の推進</li> <li>・農家と都市部との契約栽培、オーナー制などの促進</li> <li>・観光農園、体験農園の利用促進</li> </ul>	設定目標(値)	都市部との体験交流回数：10回程度/年	
		現状(値)	都市部との体験交流回数：数回/年	

## 現状と課題

- ・国民の生活水準の向上、余暇時間の増加に伴い、「自然」、「安らぎ」、「憩い」を求めて農村を訪れる都市住民は増加している。
- ・町内にはもぎ取り園や摘み取り園等の「収穫体験型」や果樹の「オーナー型」の観光農園が開設されているが、利用者の大幅な増加は見られていない。
- ・観光客のニーズは体験・学習型など質や価値を求める本物志向へシフトしており、多様化してきている。

## めざす姿

- ・農業・農村の魅力を活かしたグリーン・ツーリズムによる都市と農村の共生・対流活動の促進
- ・姉妹都市である府中市児童等の農業体験学習などを推進し、都市住民の農業・農村への理解の醸成を図る。
- ・農村地域の魅力あふれる情報を発信し、農業の大切さや農業・農村が有する多面的機能の理解を促進する。

## めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	府中市、府中ロータリークラブ
	アンテナさくほ
町が他の主体に期待すること または外部要因	農業（森林間伐含む）体験の企画・実施（府中市、府中ロータリークラブ）
	「さくほ爺婆共和国」事業（アンテナさくほ企画・実施）

## 町の取組方向

- ・アンテナさくほと共同で、都市農村交流を通じた農業・農村への理解、地域農産物の販路拡大を促進するため、情報発信を継続的に行う。
- ・アンテナさくほと連携し、平成24年度に春夏秋それぞれ実験的なグリーンツーリズム事業（さくほ爺婆共和国）を実施し、今後の事業展開を検討する。

## 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	106130	農業振興一般経費	産業振興課 農政係



## 主要事業 29 特産品づくりの推進

住民評価点	2.3	(5点満点)
職員評価点	2.9	

目的	対象	町内農業者、町内事業者及び団体	
	意図	町内にある物産や固有の文化、歴史を活かした特産品づくりを推進し、町への愛着心の機運を醸成し、町の活性化に資することを目的とする。	
主要事業目標項目 (主指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農畜産物加工製品などの地域ブランドの開発</li> <li>・花卉、果樹、野菜栽培の推進</li> <li>・特用林産物の振興</li> <li>・地域農林業情報発信の支援・充実</li> </ul>	設定目標(値)	特産品化の実現
		現状(値)	

### 現状と課題

- ・当町は水と緑に囲まれ、豊かな自然に恵まれているが、旬の食材を使用した食の特産品が少ない。
- ・地域特産品は、観光のみならず地域振興にとって重要な要素である。
- ・特産品づくりを進めるうえで、農家や女性団体と食品加工・販売業者及び観光施設等との連携が十分でなく、特産品の開発や販路開拓の体制が弱い。

### めざす姿

- ・地域食材を活用した農産加工品の開発及び特産品化の実現。
- ・特産品開発に向けた農家、女性団体、食品加工・販売業者及び観光施設との連携強化
- ・特産品づくりを推進し、農林業情報を佐久地域だけでなく県内外へ発信し、全国的な知名度を高めていく。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	アンテナさくほ
	佐久農業改良普及センター
町が他の主体に期待 すること または外部要因	アンテナさくほが企画する「美味しい未来のふるさと」事業
	特産品開発に係る技術的助言・指導

### 町の取組方向

「観光と農業の町」という優位性を活かし、ペンション、旅館など観光業との連携により地元農産物を使用した特色ある料理メニューや、おみやげ品等の商品化を「アンテナさくほ」と連携し推進する。アンテナさくほによる積極的な「食べる・買う」の情報提供・発信を行い、特産品のPR活動を推進する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	106130	農業振興一般経費	産業振興課 農政係

## 主要事業 30 地産地消の推進

住民評価点	2.5	(5点満点)
職員評価点	3.0	

目的	対象	町民、町内農業者		
	意図	「食育」や「地産地消」を推進し、農業振興と健全な食生活の普及を図る。		
主要事業目標項目 (主指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物直売施設の整備・充実</li> <li>学校給食における地元食材の利用拡大</li> <li>食文化の創造</li> </ul>	設定目標(値)	学校給食利用率の向上	
		現状(値)		

### 現状と課題

輸入農産物の急増などによる農産物価格の低迷や消費者ニーズの多様化「食」の大切さに対する意識の希薄化や食習慣の乱れ、伝統ある食文化の喪失等の問題が生じてきている。

### めざす姿

農業や地域の食文化について理解を深める。  
安全・安心で新鮮な地元農産物を使った学校給食への安定供給  
学校、旅館、食堂における地元農産物の利用促進

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	佐久浅間農業協同組合
	佐久穂町農産物直売所
	佐久地域定住自立圏協定市町村（佐久市ほか11市町村）
町が他の主体に期待 すること または外部要因	佐久浅間農業協同組合を中心とした農産物直売施設の整備
	佐久穂町農産物直売所を中心とした学校給食への地場産農作物の供給強化
	「佐久地域定住自立圏」構想による地産地消の推進

### 町の取組方向

- 「佐久穂町食育推進計画」と連動した健全な食生活の普及を図る。
- 農産物直売所と連携し、学校給食での地元産農産物の利用促進を図る。
- 学校栄養士との情報交換、情報提供の実施を行う。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	106130	農業振興一般経費	産業振興課 農政係

## 主要事業 31 森林整備保全(治山治水)

住民評価点	2.6 (5点満点)
職員評価点	3.0

目的	対象	・佐久穂町、町民（森林所有者）、森林整備事業者等		
	意図	・森林の多面的な機能を発揮するための森林の整備及び保全を図る。		
主要事業目標項目 (主指標)	・町森林整備計画及び町特定間伐等促進計画の間伐目標に基づき間伐を推進する。	設定目標(値)	年間：126ha	
		現状(値)	H20：85.16ha H21：117.92ha H22：174.55ha	

### 現状と課題

・民有林については、計画的な間伐施業及び森林作業路網の開設に加え、間伐材搬出のため林道等の維持管理及び広域基幹林道田口十石峠線開設事業を実施している。

・シカ等の野生鳥獣による立木の皮剥きの被害が多発し、町有害鳥獣駆除対策計画等に基づき、猟友会(有害鳥獣駆除従事者)に協力を求め、計画的な個体数調整により農林業被害の抑制、防止を図っている。

・森林法の改正により、平成24年度以降「無届伐採が行われた場合の行政命令」の新設、「森林の土地の所有者となった旨の届出」等が必要になる。また同法改正の中で、現行の森林施業計画及び町特定間伐等促進計画、町集約化推進計画等が森林経営計画に一本化される。

しかし、近年国は森林整備事業の制度内容を毎年変更しており、森林整備実施者は補助事業に即した事業を実施するのに苦慮している。そのため今後の制度改正の状況によっては、上記の年間間伐設定目標(値)の達成が困難となることが予想される。

### めざす姿

町では、国が進める特定間伐促進計画及び集約化実施計画、森林経営計画（以下「森林経営計画等」という。）及び長野県が進める森林づくり県民税活用事業と共に、国土の保全、地球温暖化の防止等に向けた森林整備を実施する。そのための取組みとして、町は森林整備計画等で策定した間伐目標面積を達成するため、森林所有者及び林業事業者等と連携し民有林整備の推進を図る。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県佐久地方事務所林務課</li> <li>・長野県林業公社</li> <li>・独立行政法人森林総合研究所</li> <li>・東信森林管理署</li> <li>・南佐久北部森林組合</li> <li>・林業事業者等</li> </ul>
町が他の主体に期待することまたは外部要因	・平成24年度以降森林整備実施者は、国が定めた「森林経営計画等」を策定して高率な補助事業を活用しながら、間伐目標面積等の達成に向け適正な森林整備を進める。

### 町の取組方向

国の森林整備方針に基づき、平成24年度以降森林経営計画等の事業計画承認者である町は、県の指導協力を得ながら森林整備実施者に対し施業箇所の集約化を促し、適切な間伐施業及び森林作業路網等の整備を推進する。

町有林整備により発生した間伐端材等は、公共施設の薪として有効活用を進める。

林業被害抑制のため、有害鳥獣駆除を継続する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	106210	林業総務一般経費	産業振興課 林務係
一般	106222	町単林道事業	産業振興課 林務係
一般	106223	森林造成事業	産業振興課 林務係
一般	106225	広域基幹林道開設事業	産業振興課 林務係

## 主要事業 32 観光基盤の整備

住民評価点	2.6	(5点満点)
職員評価点	3.1	

目的	対象	住民・観光客	
	意図	自然環境と調和した観光を推進し、観光、商工、農林業の活性化を図る。	
主要事業目標項目 (主指標)	観光基盤の整備	設定目標(値)	
		現状(値)	

### 現状と課題

本町は八千穂高原と古谷溪谷の2つの観光エリアをもち、自然と史跡等、観光資源に恵まれている。しかし、全体としてはまだ観光資源の有効活用がされておらず、また回遊性、滞在性に欠けるため宿泊施設も少なく、日帰り客が大半である等、地域の活性化に対する結びつきが弱い状況にあるため、恵まれた資源を活用して、魅力ある場を提供していく必要がある。

### めざす姿

観光エリアの形成に向け、豊かな自然環境と歴史を活用し、魅力ある地域づくりの充実を図りつつ、地域の活性化に結びつける。

観光PRを積極的に行い、リピーターの増加に努める。  
観光地の利用計画を作成し、計画的な整備を推進する。(保全区域、管理区域の区分など)  
スキー場、キャンプ場、管理釣り場、自然園など、多様な観光施設を活かした観光の活性化を進め、誘客にも力を入れる。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	佐久穂町観光協会
	佐久穂町商工会
	アンテナさくほ
	長野県観光協会
町が他の主体に期待 すること または外部要因	観光協会が主体となる事業の拡充
	産業振興の活性化に関する活動
	県外への情報発信 信州ブランドの推進
	佐久穂ブランドの確立

### 町の取組方向

- ・ 商工会、観光協会との連携を強化し活性化を図る。
- ・ 地場製品の発掘とブランド化を推進する。
- ・ 自然保護に関する利用計画図、活性化構想図を作成する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	107130	観光一般経費	産業振興課 商工観光係
一般	107140	休養施設一般経費	産業振興課 商工観光係

## 主要事業 33 観光情報発信とイメージアップ

住民評価点	2.6	(5点満点)
職員評価点	2.5	

目的	対象	住民・観光客		
	意図	自然環境と調和した観光を推進し、観光、商工、農林業の活性化を図る。		
主要事業目標項目 (主指標)	観光情報の発信力強化 町のイメージアップ	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

当町には高原の観光エリア、旬の農林水産物や史跡・伝統など恵まれた多様な資源があるが、総合的な佐久穂町ブランドが確立されていない。

### めざす姿

高速交通網の拠点としての優位性を生かして、首都圏と近接する高原リゾートと、旬の農林水産物や史跡・祭りなどの伝統資源を有機的に結合させた観光モデルルートを開発し提案する。(イメージ戦略)  
地域の文化財や季節の花などを解説できる人材(高原ガイド)を育成するとともに、分かりやすい案内標識や広域パンフレットの作成などを進める。観光イベントを充実する。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	佐久穂町観光協会
	佐久穂町商工会
	アンテナさくほ
	長野県観光協会
町が他の主体に期待 すること または外部要因	観光協会が主体となる事業の拡充
	産業振興の活性化に関する活動
	県外への情報発信 信州ブランドの推進
	佐久穂ブランドの確立

### 町の取組方向

- ・商工会、観光協会との連携を強化し情報発信を進める。
- ・高原リゾートと旬の農林水産物や史跡・祭りなどの伝統資源を有機的に結合させた佐久穂町ブランドの確立に取り組む。
- ・自然保護に関する利用計画図、活性化構想図を作成する。
- ・高原ガイドの育成を強化する。
- ・インターネット、ホームページでの情報管理を徹底する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分(事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	107130	観光一般経費	産業振興課・商工観光係
一般	107140	休養施設一般経費	産業振興課・商工観光係

## 主要事業 34 雇用の促進

住民評価点	1.9	(5点満点)
職員評価点	2.9	

目的	対象	企業・住民		
	意図	既存産業の活性化や企業立地に取り組むとともに、雇用情報を的確に提供することで、雇用機会の増加を図る。		
主要事業目標項目 (主指標)	雇用機会の増加	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

不景気の影響で、全国的に企業の経営状況は悪化し雇用機会は減少している。現状では雇用状況の更なる悪化を防ぐことが最優先となっている。雇用促進助成金制度を開始したが、町内企業への雇用機会は少ない。

### めざす姿

インターネット等を積極的に利用して、商工会、ハローワークと連携した住民への雇用情報の提供を行う。

同時に、町内企業の雇用情報を管理し、相談窓口を設置することで、若者の雇用機会の増加及び、この地域でいきいきと働ける環境を整える。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	佐久穂町商工会
	ハローワーク
町が他の主体に期待 すること または外部要因	

### 町の取組方向

- ・ 商工業者への支援策の拡充を検討する。
- ・ 町経済活性化を図るため、商工会等の関係機関との連携を図る。
- ・ インターネット等を利用した雇用情報の提供を検討する。(町HPからのリンク)
- ・ 商工会と連携した町内企業の雇用情報の提供及び相談窓口の設置を検討する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分(事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	107110	商工一般経費	産業振興課 商工観光係

# 基本計画

## 重点施策 4

保健医療福祉

～思いやりと健康に満ちたみんな元気なまち～

## 施策の展開

- 1 安心できる医療体制の推進
- 2 生涯現役社会の推進
- 3 地域の温もりで育む福祉体制の推進
- 4 出産子育て環境の促進

## 主要事業 35 地域医療体制の充実

住民評価点	3.3	(5点満点)
職員評価点	3.5	

目的	対象	住民		
	意図	安心できる医療体制の推進		
主要事業目標項目 (主指標)	町立千曲病院、町内医療機関、佐久総合病院の連携強化と、地域包括ケアシステムの構築	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

当町には、平成24年4月現在で病院1・診療所3・歯科医院4の8医療機関があり、さらに隣接市町には佐久総合病院等があることから、医療的には恵まれた地域と言える。しかしながら、医療ニーズは高度化・多様化しており、医療費や介護費の増大が財政運営に与える影響が年々大きくなっていることが課題となっている。

また、病院勤務医、産婦人科医、小児科医等の不足により、夜間・休日診療体制を確保するために関係機関との連携が課題となっている。

### めざす姿

町立千曲病院、町内医療機関、佐久総合病院等の連携で築き上げてきた地域医療体制を発展させるとともに、高度医療機関とのより一層の連携強化を図る。

また、健康増進、疾病予防、早期発見・治療、リハビリテーションまで、一貫した地域保健医療体制を充実させるとともに、介護や障害者福祉まで含めた地域包括ケアシステムの構築を図る。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	
町が他の主体に期待すること または外部要因	佐久総合病院再構築計画

### 町の取組方向

住民のニーズに応じて、ソフト面では、今ある保健・医療・介護・障害者福祉の関係者と協力連携してサービスを提供していき、ハード面では、そのために必要な施設が整備され、地域の保健・医療・介護・障害者福祉の資源が連携、統合されて運営できるよう努める。

また、町立千曲病院の医師の確保に努めるとともに、佐久地域の関係機関との連携を図る。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	104110	保健衛生一般経費	健康福祉課 健康づくり係
一般	104121	予防一般経費	健康福祉課 健康づくり係
一般	103120	高齢者福祉一般	健康福祉課 高齢者係
一般	103160	障害者福祉一般	健康福祉課 福祉係
一般	103180	介護保険事業費	健康福祉課 高齢者係



## 主要事業 36 町立千曲病院の充実

住民評価点	3.3	(5点満点)
職員評価点	3.5	

目的	対象	入院患者、外来患者、町民、他町村健診等利用者		
	意図	「地域の人に信頼され、愛される病院」をめざして		
主要事業目標項目 (主指標)	①年間入院、外来患者数、ドック・検診受診者数 ②医業収益、医業費用、病床利用率等経営指標	設定目標(値)	入院患者36,300人 外来患者54,000人	
		現状(値)	入院患者35,235人 外来患者49,224人	

### 現状と課題

65歳以上の町内高齢者数は減少傾向であるが、慢性疾患患者においても、いまだ、相当数の町民が他市町医療機関を受診している実態がある中、佐久総合病院の再構築計画を踏まえた新たな地域医療連携を構築する必要性が生じている。

築30年が経過した当病院施設と、他医療機関の近年及び今後新築される計画が具体化している中、施設・設備面において患者が満足する対策が必要となっている。

国の療養病床廃止の方針が示されている中、町の介護保険事業計画との整合性を図りつつ、転換方針を早期に提示・実施する時期にきている。

### めざす姿

佐久総合病院の再構築計画により、新たな地域医療連携が提唱される中、町民の身近な医療機関としての役割を果たすため、医師・看護師等のマンパワーを確保することはもとより、診療体制や健康管理体制の充実を図るとともに、適切な医療の提供や患者のアメニティ向上のための医療機器整備・更新や施設改修等を実施し、「地域の人に信頼され、愛される病院」をめざす。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	
町が他の主体に期待することまたは外部要因	佐久総合病院再構築計画 国の療養病床転換方針

### 町の取組方向

- ・地域の人に信頼され、愛されるための診療体制整備と医師・看護師等のマンパワーの確保を図る。
- ・入院、外来患者のアメニティ向上と病院の機能向上のための病院施設整備を進める。
- ・適切な医療提供のためのシステム構築や医療機器の更新を図る。
- ・病院経営健全化に向け、繰出し基準による財政支援を行う。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
病院	13	病院事業会計（病院施設整備事業）	千曲病院
病院	13	病院事業会計（医療機器整備事業）	千曲病院
病院	13	病院事業会計（補助金（一般会計））	千曲病院

## 主要事業 37 保健、予防対策の充実

住民評価点	3.6	(5点満点)
職員評価点	3.6	

目的	対象	住民		
	意図	生涯現役で過ごすための住民の健康増進		
主要事業目標項目 (主指標)	検診受診率の向上	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

町のがん検診受診率は35%を推移していて全国的には高いが、若年のがん死亡者の減少には至っていない。高齢者数の増加に伴い患者数が増加し、医療費が増大している。少子化世代で育った年代が親となり、育児に携わっており、様々な育児不安を抱えている。精神疾患者が低年齢化していることに伴い患者数は年々増加していることから、医療費が増大している。また、当町の自死者は年平均約3名となっており、早急な対策が求められている。

### めざす姿

住民ひとりひとりが「生涯現役」で過ごせる町をめざす。  
健康増進事業と保健予防に関する住民組織の重要性を再認識したうえで、健康増進事業への参加者増加と住民組織のさらなる活発化を図る。  
若年のがん死亡を抑えるため、がん検診受診率の向上を目指し、国民健康保険以外の方でも町が実施するドック、集団健康検診、保健指導等を受診できる体制を維持する。  
子どもを地域で育てる町をめざす。  
心の健康に関する様々な情報を住民が理解し、町の相談窓口や専門医療機関に繋げる体制を整備する。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

検診受診率向上を目標に行動し、たとえば、検診日程や受診環境等の改善と検討を行う。  
定期検診においては、年代、性別、病歴、遺伝、血圧、肥満などの、本人の特性やリスクを考慮した検診体制を検討していく。  
加入している医療保険の種類を問わない町独自の保健予防事業を展開する。  
乳幼児期から相談と健診を積極的に行い、いち早く子どもとその保護者の支援を図る。  
心の健康に関する情報発信を行い、専門相談の窓口利用を促進する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	104120	保健衛生一般経費	健康福祉課 健康づくり係
一般	104121	予防一般経費	健康福祉課 健康づくり係
一般	104122	母子保健一般事業	健康福祉課 保健係、健康づくり係

## 主要事業 38 老人保健施設の充実

住民評価点	3.6	(5点満点)
職員評価点	3.7	

目的	対象	要介護者・家族、サービス提供者		
	意図	入所・通所リハビリ・居宅介護支援の提供により高齢者福祉の充実に努める。		
主要事業目標項目 (主指標)	入所サービス 南館30・北館50 通所リハビリ 北館20 居宅介護支援 35件	設定目標(値)	利用率93%	
		現状(値)	利用率90%	

### 現状と課題

民間の介護施設の増加と経済不況の影響により、入所者が減少傾向にあるので通年を通しての利用者の確保と通所リハビリの充実により早期に在宅介護に転換できるような体制作りが必要となる。

### めざす姿

理学療法士、作業療法士の増員により、入所・通所者のリハビリの充実と看護・介護職員の資質向上を図り、地域に根ざし、信頼される施設をめざす。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	理学療法士会
	全国老人保健施設協会
町が他の主体に期待すること または外部要因	国の介護保険法改正による介護報酬点数の見直し

### 町の取組方向

- ・理学療法士の資格取得者確保を進める。職員の資格取得、研修を積極的に進める。
- ・現状と課題を踏まえた施設運営の方向性について検討する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
特別	100101	一般管理費	老人保健施設
特別	100201	施設介護サービス事業	老人保健施設
特別	100301	公債費	老人保健施設

## 主要事業 39 高齢者福祉の充実

住民評価点	3.3	(5点満点)
職員評価点	3.6	

目的	対象	高齢者	
	意図	いつまでも高齢者が安心して地域で住み続けることができるような環境づくりと支援	
主要事業目標項目 (主指標)		設定目標(値)	
		現状(値)	

### 現状と課題

高齢化が著しい当町において、元気な高齢者から要介護認定を受けている方まで、すべての高齢者に対し、安心して地域社会で生活できるよう支援を行っている。今後は、行政からの高齢者に対する支援ばかりでなく、地域における資源を活用した支援や、その機運を醸成するような対策を今以上に講じる必要がある。

### めざす姿

年をとることは決して特別なことでなく、誰にでも訪れる当たり前のことであることを再認識し、敬老思想を持って地域全体で高齢者を支え、いつまでも生きがいを持って元気で生活するための社会参加の場を提供するとともに、心身の状態が悪くなってきた方には、あらゆる側面から生活を支援する対策を充実させていく。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	長野県健康福祉部健康長寿課長寿係
	佐久保健福祉事務所福祉課
町が他の主体に 期待すること または外部要因	社協によるボランティアの育成
	公民館事業へ高齢者の積極的参加
	区による敬老事業の開催

### 町の取組方向

- ・他機関と連携してボランティアの育成を進める。
- ・介護サービス利用者の世帯状況や利用状況を的確に把握し、適正な低所得者支援をしていく。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	103120	老人福祉一般経費	健康福祉課 高齢者係
一般	103180	介護保険事業費	健康福祉課 高齢者係

## 主要事業 40 障がい者福祉の充実

住民評価点	3.3	(5点満点)
職員評価点	3.6	

目的	対象	障がい者及び障がい者の家族		
	意図	障がいのある人が、普通に暮らせる地域づくりの実現に向けた支援		
主要事業目標項目 (主指標)	地域で自立した生活を送れる人を維持する。	設定目標(値)	長期入院・入所者の地域移行を進める	
		現状(値)		

### 現状と課題

ノーマライゼーションの理念のもと国・県の基本指針に沿った、第2期佐久穂町障害福祉計画に基づいて、地域で暮らしながら社会参加を実現するため、障がい福祉サービス提供基盤の整備を図ってきた。

障がい者の思いに寄り添った支援には、サービス提供事業者と連携をはかりながら、自己選択できるより更なる基盤整備が課題である。

平成18年に施行された障害者自立支援法は、様々改正されながら、平成25年にはそれに替わる「障害者総合福祉法」(仮称)が施行される予定で、それにむけた対応も必要となっている。

### めざす姿

生まれ育ったこの町で暮らしたいとの思いに寄り添えるよう、障がい福祉サービスの提供体制の確保と日常の相談支援やサービス利用など、ケアマネジメントができる支援体制の充実を図る。

障がいを理解し、地域で暮らすことが当たり前になる地域社会の実現をめざす。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	長野県健康福祉部障害者支援課
	長野県佐久保健福祉事務所 福祉課 健康づくり支援課
	佐久障害者自立支援協議会・佐久障害者相談支援センター
町が他の主体に期待すること または外部要因	自立支援協議会による佐久圏域の課題整理及び福祉サービス連携
	町内外障がい者相談支援事業所との連携による相談支援体制の確立

### 町の取組方向

- ・関係機関・NPO法人・社会福祉法人等のサービス事業者と連携し、サービス提供基盤の充実を図る。
- ・障害者権利条約にある合理的配慮に基づき、障がい者支援を展開する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分(事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	103160	障害者福祉一般経費	健康福祉課 福祉係
一般	103161	障害者支援事業	健康福祉課 福祉係

## 主要事業 41 介護保険事業の充実

住民評価点	3.1	(5点満点)
職員評価点	3.5	

目的	対象	住民（40歳以上の介護保険受給者、一次予防事業対象者、二次予防事業対象者） 介護サービス事業者		
	意図	保険者、被保険者、介護事業者等の円滑な介護保険サービスの活用・提供支援 介護状態にあっても在宅生活が継続できるように支援及び介護予防		
主要事業目標項目 (主指標)			設定目標(値)	
			現状(値)	

### 現状と課題

急速な少子高齢化により、当町においても高齢者数が増え、それに伴う要介護認定者の数も増加している。また、高齢化や核家族化の進展により家庭での介護力が低下しているため、高齢者の状況やニーズに応じて、サービス基盤の整備・拡充が必要とされる。また、要介護認定を受けることを少しでも遅らせるために、介護予防と健康づくりを支援していく必要がある。

### めざす姿

要介護認定者の増加に伴い、大幅に増えていく見込みの保険給付費を適正に執行するための体制を確立し、利用者本位のサービスが適切に提供されることをめざす。また、介護予防や健康づくりの推進のためにも他機関と密な連携を図り、利用者が参加しやすいような環境を作っていく。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	長野県健康福祉部健康長寿課介護支援室・長寿係
	佐久保健福祉事務所福祉課
	医療機関、通信業者、電算システム業者、広域連合、金融機関等
町が他の主体に 期待すること または外部要因	介護保険事業所による適正なサービス提供
	居宅介護支援事業者による質の高いケアプランの作成
	社協の提供する介護予防事業の機能強化

### 町の取組方向

- ・在宅サービス利用の推進と、それを補う施設サービスの充実
- ・多様な住まいのニーズに対応したサービス基盤の整備
- ・介護予防メニューの再点検と評価を行い、必要に応じてサービスの拡充を図る

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
介護	41110～41310	総務費（一般管理事業～認定調査事業）	健康福祉課 高齢者係
介護	42110～42610	保険給付費（居宅介護サービス費～高額医療合算介護等費）	健康福祉課 高齢者係
介護	45110～45310	地域支援事業費（介護予防事業～任意事業）	健康福祉課 高齢者係

## 主要事業 42 母子父子福祉等の充実

住民評価点	3.1	(5点満点)
職員評価点	3.3	

目的	対象	ひとり親家庭の住民		
	意図	ひとり親家庭の生活安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図る。		
主要事業目標項目 (主指標)	経済的自立の促進	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

ひとり親家庭では収入が低い家庭が多く生活不安定となりがちであるが、収入面の援助は児童扶養手当と福祉医療とわずかである。経済的自立の促進を図りながら、児童の健全な成長を確保することが重要である。

母子では就職あっせんの充実、母子父子ともに児童扶養手当の増額・拡充などが求められている。

### めざす姿

母子・父子家庭の生活実態を把握し、子育てと仕事の両立、就職やより収入の高い就業を可能にするための支援の充実をめざす。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	長野県佐久保健福祉事務所
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

母子家庭の母及び父子家庭の父の、生活実態把握に努める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	103190	福祉医療費一般経費	健康福祉課 福祉係



## 主要事業 43 地域福祉活動の推進

住民評価点	3.1	(5点満点)
職員評価点	3.2	

目的	対象	住民、サービス事業者、		
	意図	支援を必要とする人を地域で助け合い、支える環境を整備する。		
主要事業目標項目 (主指標)	ボランティア登録数、地域で活動するNPO法人数	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

人口減少が進行する中で、高齢者世帯や共働き世帯の増加などが地域社会に大きな変化をもたらしており、近隣のつきあいが希薄になるとともに地域への帰属意識が薄れ、相互に助け合って暮らすといった、地域コミュニティの持つ共助機能が低下している。

### めざす姿

高齢者や障がい者等が身近な地域で自分らしく生活を継続していくため、自分の生活を自分の手でしっかり守ること（自助）を基本とし、行政による公的サービス（公助）と、それぞれの地域において地域住民が手を携えながら、思いやりを持って共に支え合い・助け合う活動（共助）が浸透している地域社会を実現する。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	社会福祉協議会
町が他の主体に期待すること または外部要因	ボランティア団体、NPO法人、地域自治組織の支援活動

### 町の取組方向

- ・高齢者や障がい者などの自立支援を進める。
- ・異世代間、地域間などの交流促進を進める。
- ・障がい者の社会生活全般におけるバリアフリー化の促進を図る。
- ・ボランティア育成、活動支援を進める。
- ・社会参加への支援やその仕組みづくりを進める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	103110	社会福祉一般	健康福祉課 福祉係
一般	103160	障害者福祉一般	健康福祉課 福祉係



## 主要事業 44 子育て支援の充実

住民評価点	3.2	(5点満点)
職員評価点	3.5	

目的	対象	15歳までの年少者とその保護者		
	意図	子育てに関わる保護者の負担軽減や支援を行い、児童生徒の健全育成をめざす。		
主要事業目標項目 (主指標)		設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

低成長時代となり、比較的所得の少ない家庭では、子育てにかかる経費が重荷になっていたり、また核家族が多くなり、子育てにおける相談や支援が受けにくい環境もある。このような環境で、不登校の児童や生徒の増加、育児放棄などの虐待事例も増えてきている。

### めざす姿

子育て世帯の経済的、精神的負担の軽減を図ることで、児童・生徒の健全な成長と、町の出生数の減少を抑える。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	厚生労働省
	長野県子ども家庭課
	長野県佐久保健福祉事務所
	社会福祉協議会
	民生児童委員協議会
町が他の主体に 期待すること または外部要因	ボランティア団体、NPO法人、地域自治組織の支援活動

### 町の取組方向

中学3年生までの医療費の無料化を継続する。  
 こども手当（児童手当）の支給を行う。  
 児童虐待・DVの相談支援を実施する。  
 要保護児童対策地域協議会の運営を行う。  
 民生児童委員協議会の活動支援を行う。  
 子育て支援の充実について、各種媒体を用いて広報に努める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	103190	福祉医療費一般経費	健康福祉課 福祉係
一般	103210	児童福祉一般経費	こども課 こども支援係

## 主要事業 45 保育サービスの充実

住民評価点	3.3	(5点満点)
職員評価点	3.4	

目的	対象	家庭で保育を受けられないため、町内保育園に入園している乳幼児及び子育て家庭		
	意図	子どもの幸せを第一に考えるとともに、利用者の生活実態や意向を踏まえ、保育サービス提供の体制及び整備に努める。		
主要事業目標項目 (主指標)	健康で豊かな人間性をもった子どもの育成 子育てと就労の両立支援 地域との連携を図り活性化に繋げる	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

出生数の減少による、入園児童数の減少  
 社会・経済・環境の変化等による新たなニーズに対応した保育サービスの充実  
 (延長保育・一時保育・希望保育・乳児保育・障がい児保育・広域入所保育・病児病後児保育等)  
 利用者のニーズを把握し、保育サービス体制の整備を図る。

### めざす姿

45

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	長野県健康福祉部こども・家庭課保育係
	佐久保健福祉事務所福祉課
町が他の主体に 期待すること または外部要因	仕事の都合で他の市町村の保育所への入所が必要な児童を広域で子育て支援する。
	定住自立圏による中心市及び関係市町村との連携
	圏域全体に係る子育て支援体制の整備
	(病児・病後児保育の広域化、発達障がい児支援体制の整備など)

### 町の取組方向

- ・平成21年度に改定された「保育所保育指針」を踏まえ、保育内容の見直しを引き続き行う。
- ・利用者のニーズを把握し、きめ細かな保育サービスを提供する。
- ・保育士の質の向上のため、各種研修に参加し専門性の高い保育を提供する。
- ・保育の専門性を生かし、障がいを持った児童の将来を見据えた保育及び家庭支援を行う。
- ・すべての子どもの幸せを第一に考え、働きながら安心して子育てができるよう、子育てと仕事の両立を支援する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	103240	保育所一般経費	こども課 保育園係
一般	103241	栄保育園	こども課 栄保育園
一般	103242	海瀬保育園	こども課 海瀬保育園
一般	103243	八千穂保育園	こども課 八千穂保育園
一般	103245	広域入所費	こども課 保育園係

## 主要事業 46 放課後児童健全育成の充実

住民評価点	3.2	(5点満点)
職員評価点	3.5	

目的	対象	「学童クラブ」 小学生と小学生を養育する親	
	意図	放課後保育を要する児童を預かることにより、親の子育てと仕事の両立を支援する。	
主要事業目標項目 (主指標)	平成27年度の小学校統廃合に向けて、学童クラブも4ヶ所から2ヶ所に統合する。	設定目標(値)	2ヶ所
		現状(値)	4ヶ所

### 現状と課題

基本は放課後、保育を要する小学1年から4年生児童が対象であるが、高学年や保育を要しない児童の入所を一概に断れない状況にあり、町内全児童の約半数が登録利用している。そのため、適正規模を上回っている学童クラブもある。

施設は、旧公民館・保健センター・社会体育館など本来の目的外使用のため、使い勝手が悪く、老朽施設もある。また、指導員の身分が不安定であるとともに有資格者がいない状況である。

### めざす姿

将来的には、総合的な児童施設である児童館建設を検討するが、当面は、放課後の子どもの安全で健やかな活動の拠点を確保するために、平成27年4月の小中学校統廃合にあわせ、学童クラブを再構築する。そのため早期に運営マニュアルを作成し、マニュアルに沿ったソフト・ハード面の充実をめざす。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	厚生労働省 雇用均等・児童家庭局
	長野県健康福祉部 こども・家庭課
	佐久保健福祉事務所 福祉課
町が他の主体に期待すること または外部要因	少子化が進む中、保育を要しない児童の放課後実態を考慮して、保育を要しない児童も補助対象となるよう働きかけたい。

### 町の取組方向

早期に運営マニュアルを作成し、それに沿った学童クラブを町内2ヶ所に平成27年4月に開設できるよう整備を進める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	103211	放課後児童健全育成事業	こども課 こども支援係

# 基本計画

## 重点施策 5

### 教育文化

～学びと文化が織りなす心豊かな人づくりのまち～

### 施策の展開

- 1 まちぐるみ学びあいの推進
- 2 まちを愛し、誇りを持てる文化の創造
- 3 個性豊かに輝く学校教育の推進

## 主要事業 47 生涯学習施設の充実

住民評価点	3.6	(5点満点)
職員評価点	3.6	

目的	対象	生涯学習館「茂来館」、「図書館」、体育施設	
	意図	学習活動、生涯学習を推進する場として、住民のニーズにあった機能を有する整備充実を図る。	
主要事業目標項目 (主指標)	生涯学習拠点機能の充実により、少子高齢化の中でも利用者数の維持を図ること。	設定目標(値)	現状維持
		現状(値)	

### 現状と課題

生涯学習館は、平成13年度の開館から10年を経過し、施設の機能維持が今後の課題である。  
また、図書館の蔵書数が8万7千冊を超え、展示スペースはもとより図書の保管場所が不足しつつあるため、今後蔵書調整の方向性については検討を要する。  
社会体育施設も、経年劣化による今後の機能維持が課題となる。

### めざす姿

生涯学習館については、生涯にわたり自ら学び続けることができる学習活動の支援の場、各種地域サークル活動等の拠点として機能を、また各種体育施設についても、社会体育事業の振興のため、社会体育館、グラウンドの機能維持に努める。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

住民の生涯学習活動、社会体育活動の支援のため、各種施設の機能維持に努めるとともに、多様化する住民要望に応えるため、必要に応じた整備を検討する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分(事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般会計	110550	生涯学習館管理	教育委員会 生涯学習係
一般会計	110620	体育施設管理事業	教育委員会 生涯学習係

## 主要事業 48 生涯学習の推進

住民評価点	3.4	(5点満点)
職員評価点	3.4	

目的	対象	住民	
	意図	「集う、学ぶ、結ぶ」の原点に立ち返った生涯学習の推進と、住民自治や地域連帯を基盤とする総合的な地域づくりを目指す。	
主要事業目標項目 (主指標)	学びの絆で地域力を高める生涯学習の推進	設定目標(値)	
		現状(値)	

### 現状と課題

「分館事業」については、毎年同じ事業を行っており、役員以外の参加が減っている。  
 「同好会等」については、平均年齢の上昇と共に、休会する団体が増えてきた。  
 「社会教育・社会体育事業」については、少子高齢化、過疎化など集落の課題を反映しきれない。

### めざす姿

既存の講座・事業を再構築しながら、職員自らPDC Aサイクルを通じて、地域の課題を読み取り、住民と問題意識を共有できる生涯学習を目指したい。  
 また、地域の人達から学ぶ姿勢を大切にし、公民館の組織力を高めたい。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	県生涯学習推進センター及び他市町村の公民館や団体
町が他の主体に期待すること または外部要因	情報や課題への取り組み方の共有など。

### 町の取組方向

・生涯学習を推進する職員が、率先して研修や学習会に参加し、向上出来る体制づくりを進める。  
 ・事業を企画立案する「企画立案委員会」や、館報を編集する「館報編集委員会」の組織化を検討し、生涯学習活動の深化に役立てたい。  
 ・社会体育人口の増加のため、体育協会を通じてスポーツ振興を図るとともに、スポーツ少年団の活動強化、ニュースポーツの普及促進に努め、スポーツ人口の育成を図る。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	110510	社会教育活動事業	教育委員会・生涯学習係
一般	110610	社会体育活動事業	教育委員会・生涯学習係

## 主要事業 49 人権教育の推進

住民評価点	3.3	(5点満点)
職員評価点	3.2	

目的	対象	町民、町内企業、解放子ども会	
	意図	部落差別をはじめとする、あらゆる差別をなくすため人権意識の高揚を図る。	
主要事業目標項目 (主指標)	町民一人ひとりが思いやりの心を大切にし、差別や偏見のない人権尊重のまちづくり	設定目標(値)	教育啓発事業の現状以上の開催
		現状(値)	人権講座6回、分館講座3分館人権フェス1回

### 現状と課題

未だ部落を始め、女性、高齢者、障がい者等に対する様々な差別が存在しており、その根絶のため、人権同和教育講座、人権フェスティバル等の啓発活動や学習機会を提供するとともに、自発的に活動できる人材育成に努めてきたが、今後も学習内容、方法の工夫を加えながら活動を継続する必要がある。

### めざす姿

部落差別の解消、女性や子どもの人権擁護、高齢者をはじめとする社会的弱者を大切にする心の育成、障がいのある人の社会への完全参加と平等の実現等を、関係する組織団体と連携を図りながら推進するとともに、町民一人ひとりが思いやりの心を大切にする人権教育の充実と人権意識の啓発に努める。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	東信教育事務所生涯学習課
	長野地方法務局佐久支局、長野県人権啓発活動ネットワーク協議会
	長野県企画部人権・男女共同参画課、長野県人権啓発センター
町が他の主体に期待すること または外部要因	人権教育促進事業補助金
	関係機関との連携による、人権教育の充実及び人権啓発の強化

### 町の取組方向

- ・各種人権同和教育講座等の開催により、町民を始めとする参加者が、意見交換できる機会を多く設ける。あわせ人権フェスティバルによる人権啓発を進める。
- ・人権同和教育指導者講座を行い、町内に多くの指導者を育成する。
- ・その他、関係機関との連携による、人権教育の充実及び人権啓発活動の強化を進める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	110511	人権同和教育事業	教育委員会 生涯学習係
一般	103131	人権同和対策一般経費	住民税務課 人権政策係

## 主要事業 50 青少年健全育成の推進

住民評価点	3.1	(5点満点)
職員評価点	2.9	

目的	対象	青少年、住民、青少年育成協議会		
	意図	家庭、学校、地域社会の連携により地域の子どもたちを育てる。 青少年育成協議会の連携を図る。		
主要事業目標項目 (主指標)	各種団体が、それぞれ子育て支援・健全育成に取り組んでおり、青少年育成協議会を中心に関係団体の連携強化を推進する。	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

佐久穂町青少年育成協議会の構成団体がそれぞれの目的に沿って活動をしている。社会問題、個別事例の複雑化、個人情報の保護等の、社会情勢の変化に沿った青少年育成協議会の活動が推進できるよう、協議会の存続を含めた組織の在り方について、常に再検討する必要がある。

### めざす姿

引きこもりや不登校など、子どもたちの問題行動が心配されている。青少年のすこやかな成長に、家庭・地域・学校・その他各種団体と連携し、社会全体で支援に努める。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	長野県子ども・若者育成支援推進本部
	長野県青少年育成協議会
	佐久青少年育成協議会
	佐久穂町青少年育成協議会（議会・民生児童委員・保護司会・更生保護女性会・人権擁護委員・社会教育委員・体育指導委員会・体育協会・交通安全協会・防犯指導委員会・防犯女性部・駐在所・保育園保護者会・PTA連合会・小中学校・人権擁護審議会・教育委員会・こども課等）
町が他の主体に期待 すること または外部要因	

### 町の取組方向

青少年育成に関する個々の事件、悩み等に対して、こども課・健康福祉課を中心に相談を受ける体制を整え、青少年育成協議会の構成団体と連携をしながら支援に努める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	110524	青少年健全育成事業	こども課 子ども支援係



## 主要事業 51 文化芸術活動の振興

住民評価点	3.2	(5点満点)
職員評価点	3.1	

目的	対象	町民、来館者		
	意図	1、町民に親しまれる美術館 2、落ち着いた鑑賞空間を提供し、再訪を望める美術館の構築		
主要事業目標項目 (主指標)	奥村土牛記念美術館来館者数を一つの指標とする。	設定目標(値)	現状維持	
		現状(値)	3,100人	

### 現状と課題

来館者が年々減少傾向にある一方で、施設の老朽化も進み、施設維持のため補修等が必要になっている。また、館内には空調設備も整備されていないため、作品の維持、快適な鑑賞空間の提供のため、早急な整備を要する。宣伝活動にも制約があり思うように誘客活動が出来ない。

宮田三郎先生に寄贈された木版画の下絵や原画などは、全て整理が終了しギャラリー等で展示公開しているが、今後も寄贈を希望している版本等の受け入れ方法が課題である。

メリアホールでは、生の演劇・芸術公演・スタインベルクピアノコンサートなどを開催し、芸術活動や生涯学習の振興を図っている。

### めざす姿

日本画壇最高峰にいた奥村土牛画伯の素描画ではあるが、土牛芸術の真髄を収蔵した美術館として後世に残すと共に、建物も町の有形文化財に登録されているので文化、歴史にふれる施設としたい。

生涯学習館茂来館が、生涯学習と文化振興推進の拠点となるようなソフト、ハード両面からの充実を目指す。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

奥村土牛記念美術館は、文化施設としての役割が大きく、現在所蔵している奥村画伯の作品の保存と合わせ、多くの方に芸術を楽しんでいただける美術館として、建物の文化財施設の保存と合わせ整備を図る。

生涯学習館茂来館は、住民が集う芸術・文化振興の中心施設として、図書館、ギャラリー、メリアホール等の整備を図る。

### 主要事業の目的を達成する事業区分(事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	110540	奥村土牛記念美術館事業	教育委員会 生涯学習係
一般	110552	図書館運営事業	教育委員会 図書館係

## 主要事業 52 文化財の保存活用

住民評価点	3.3	(5点満点)
職員評価点	3.0	

目的	対象	町民		
	意図	文化財の調査・整理を行い、貴重な文化財の保護に努める。		
主要事業目標項目 (主指標)	文化財の保存・活用の検討	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

町内各所に保管されている文化財や資料整理はおおむねされている。また、昨年寄贈された奥水コレクションの整理も着実に進めている。しかし、資料の分散保管は整理や活用の上で大きな障害となっており、展示や活用拠点となる場所が是非とも必要である。また、廃校となる学校の資料や重要な行政文書の保存・活用も大きな課題である。

### めざす姿

資料館の設置に向けて、設置場所や展示、保存、管理の方法などについて検討し、早期の設置をめざす。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

整理された文化財の展示・保存のための資料館を、小中学校統合による空き校舎の活用も含め、設置できるように検討していく。

指定文化財や保管資料などを有効活用するため、展示会や講座の開催、冊子やマップの刊行等を進める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般会計	110561	文化財保護事業	教育委員会 生涯学習係

## 主要事業 53 学校施設の充実

住民評価点	3.3	(5点満点)
職員評価点	3.3	

目的	対象	各小中学校児童・生徒	
	意図	快適な学校生活が送れる施設建設・維持管理に努める。	
主要事業目標項目 (主指標)	統合小中学校の建設	設定目標(値)	27年4月開校(1小・1中)
		現状(値)	3小・2中

### 現状と課題

町では、少子化の中、子どもたちにとってのより良い教育環境を求め、平成19年2月から「小中学校あり方検討委員会」を発足した。その検討結果の提言をもとに、地区懇談会の開催や統合小中学校建設検討委員会など町民の意見を聞きながら、平成27年4月の開校に向けて統合小中学校整備を進めている。並行して、新校舎開校までの間も安心した学校生活を送れるよう日常的な維持管理はもとより、21・22年度と集中して既存学校施設に必要な耐震補強工事等を行い、安全確保に努める。

### めざす姿

統合小中学校建設により、安心安全な教育環境整備を図る。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	長野県教育委員会義務教育課総務助成係
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

統合小中学校建設と並行して、小中連携を進め開校時に一貫教育を行う。

### 主要事業の目的を達成する事業区分(事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	110123	統合小中学校整備事業	教育委員会 学校建設係
一般	110210	小学校管理一般経費	教育委員会 学校教育係
一般	110212	中央小学校管理経費	教育委員会 学校教育係
一般	110213	西小学校管理経費	教育委員会 学校教育係
一般	110214	八千穂小学校管理経費	教育委員会 学校教育係
一般	110310	中学校管理一般経費	教育委員会 学校教育係
一般	110311	佐久中学校管理経費	教育委員会 学校教育係
一般	110312	八千穂中学校管理経費	教育委員会 学校教育係

## 主要事業 54 学校教育の充実

住民評価点	3.3	(5点満点)
職員評価点	3.1	

目的	対象	各小中学校児童・生徒		
	意図	健全な学校運営と、児童・生徒の学力・体力向上に努める。		
主要事業目標項目 (主指標)	小中連携教育の推進	設定目標(値)	小中9年間を通じた教育活動	
		現状(値)	学校単位での教育活動	

### 現状と課題

各学校教育計画に基づく教育目標達成のため、教育活動を展開している。基礎学力の充実支援のため、町費による教員の適正配置も行いながら学力向上に努めている。また、学校給食を通して地産地消と健全な食生活の実践による食育環境の充実に努めている。

### めざす姿

現在、統合小中学校建設と並行して「小中一貫教育」を行う計画を進めている。学習指導要領に準拠した6・3制による学年の区切りを維持しながら、前期(1～4年)[基礎充実期]・中期(5～7年)[活用期]・後期(8～9年)[発展期]と9年間を通じて児童・生徒一人ひとりの個性や能力を伸長することに焦点を当てた教科指導をはじめ、様々な教育活動を展開することを目指す。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

統合小中学校開校までは、「小中一貫教育」の具体化に向けて、教職員をはじめ、地域・保護者とも連携して推進する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分(事業別予算事業)

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	110120	教育委員会一般経費	教育委員会 学校教育係
一般	110220	小学校教育振興一般経費	教育委員会 学校教育係
一般	110222	中央小学校教育振興経費	教育委員会 学校教育係
一般	110223	西小学校教育振興経費	教育委員会 学校教育係
一般	110224	八千穂小学校教育振興経費	教育委員会 学校教育係
一般	110320	中学校教育振興一般経費	教育委員会 学校教育係
一般	110321	佐久中学校教育振興経費	教育委員会 学校教育係
一般	110322	八千穂中学校教育振興経費	教育委員会 学校教育係
一般	110410	学校給食一般経費	教育委員会 学校教育係
一般	110411	共同調理場経費	教育委員会 学校教育係
一般	110413	中央小学校給食経費	教育委員会 学校教育係
一般	110414	西小学校給食経費	教育委員会 学校教育係
一般	110415	佐久中学校給食経費	教育委員会 学校教育係

## 主要事業 55 ホームステイ事業の充実

住民評価点	3.0	(5点満点)
職員評価点	2.9	

目的	対象	各小中学校児童・生徒		
	意図	体験学習を通じた豊かな世界観の醸成と生きる力の養成に努める。		
主要事業目標項目 (主指標)	ホームステイ事業の継続	設定目標(値)	毎年度実施	
		現状(値)	同上	

### 現状と課題

将来を担う中学生を対象にカナダへのホームステイ事業を実施し、9日間の行程で異文化を体験しながら、英語力の向上と、グローバルな感覚を養う。

### めざす姿

国際人として生きる基本を育成し、語学力の向上を期するとともに、外国の文化や風土、そして人々と接する中で人間性やマナーを涵養できるプログラムの設定を行う。また経済情勢・参加人数等の変動による個人負担額の増とならないよう、参加しやすい環境整備を図る。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	
町が他の主体に期待 すること または外部要因	

### 町の取組方向

- ・対象者へのPRを徹底しながら有意義な交流ができるプログラムを選定し、将来を担う人材育成のため事業を継続する。
- ・事前研修を充実させる。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	110121	ホームステイ事業	教育委員会 学校教育係

## 主要事業 56 地域に開かれた学校づくり

住民評価点	3.1	(5点満点)
職員評価点	3.1	

目的	対象	町民		
	意図	学校・家庭・地域との連携を図りながら、開かれた学校づくりに努める。		
主要事業目標項目 (主指標)	開かれた学校づくりと学校評価の充実	設定目標(値)	第三者評価を活用した学校評価検討	
		現状(値)	未導入	

### 現状と課題

社会教育と連携し学校施設のうち体育館・校庭については、夜間・休日は主に社会体育を中心に地域住民に開放している。また、教職員による自己評価や保護者などの学校関係者また学校評議員による学校評価等を行い、より良い学校運営を目指し組織的・継続的な取り組みに努めている。

### めざす姿

平成22年7月に「学校評価ガイドライン」が改訂され、学校の第三者評価に係る内容の追加が行われた。今後さらに文部科学省において検討を深めることとされているが、学校が自ら学校運営を改善し、その教育水準の向上を図るとともに、適切に説明責任を果たして、保護者や地域住民等の理解と参画を得て学校づくりを進めていくため、実施義務ではないものの第三者評価も検討しながら学校評価全体の充実を図る。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

- ・学校施設の開放を進める。
- ・第三者評価のあり方を検討する。
- ・地域の伝統・文化など、地域の教育力が活用できるよう学校と連携する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係

## 主要事業 57 高等教育の支援

住民評価点	2.9	(5点満点)
職員評価点	2.9	

目的	対象	高等学校以上に在学するもの	
	意図	経済的理由によって修学困難なものに奨学金を貸与し、教育の機会均等に努める。	
主要事業目標項目 (主指標)	貸与資格者を制限しない基金造成	設定目標(値)	必要に応じた増額
		現状(値)	125,000千円

### 現状と課題

佐久穂町奨学金貸与条例に基づき、奨学金貸付基金の運用により、継続・新規を含め、毎年30人程度の貸付を実施している。

### めざす姿

基金残高は毎年20,000千円程度で推移し貸付への支障は生じていないが、長引く景気低迷・個人所得の減少により、新規貸与希望の増が懸念される。必要に応じ基金の増額も検討しながら、進学支援を推進していく。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	
町が他の主体に期待 すること または外部要因	

### 町の取組方向

- ・奨学金貸与制度の普及、推進を図る。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
基金		奨学金貸付基金	教育委員会 学校教育係

# 基本計画

## 重点施策 6

### 住民と行政の協働

～知恵と夢で拓くみんなで創るまち～

### 施策の展開

- 1 住民と行政の協働
- 2 地域の繋がりと心のふるさとの形成
- 3 男女共に力が出せるまちづくり



## 主要事業 58 住民の行政参画

住民評価点	2.9	(5点満点)
職員評価点	2.9	

目的	対象	住民・NPO法人・ボランティア		
	意図	顔の見える行政を推進し、住民と行政の連携によるまちづくりをめざす。		
主要事業目標項目 (主指標)		設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

現在の住民による行政参画の機会は、公募委員を募った際の参加が主で、他に行政参画の機会がない。

### めざす姿

住民参加による政策評価システムの構築や、可能な限り政策形成の場へ住民の参加を促し、施策に反映させるよう努める。あわせてNPOやボランティアの支援・協力などを得つつ住民の参加を図る。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	
町が他の主体に期待すること または外部要因	NPO法人の組織化の推進と、それに参加する住民の増加、ボランティア活動者の組織化

### 町の取組方向

- ・「さくほいいずら」の開催により、各世代間交流の機会を設ける。
- ・地区の自治会活動の活性化を図るため、活動助成金の交付を行う。
- ・その他、町や地区で開催するイベントへの参加を推進する。
- ・お出かけ町長室の開催を通じて、住民に町の現状を伝えるとともに意見を聴き、行政運営の参考とする。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	102171	自治振興一般経費	総務課 庶務係

## 主要事業 59 行政の情報公開推進

住民評価点	3.1	(5点満点)
職員評価点	3.0	

目的	対象	住民		
	意図	広報紙、インターネット、地区懇談会などを通じて、行政情報を逐次公開する。		
主要事業目標項目 (主指標)		設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

現在、住民に情報を伝達する手段としては、防災行政無線の定時及び非常放送、年12回発行される広報紙、インターネットのホームページ、特定目的の地区説明会、おでかけ町長室などがある。

町外就労者の増加により、就業中の広報手段の構築が望まれる。また、ホームページは閲覧者が限定される傾向があるが、同等の情報量と内容を日々更新しながら提供できる媒体は見当たらないのが現状である。

### めざす姿

適切な時期に適切な内容を、過不足なく伝達することが理想だが、すべてを望むのは難しい。従来の方法を大幅に変えることなく、改善を重ねていく。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	
町が他の主体に期待 すること または外部要因	

### 町の取組方向

防災行政無線の定時及び非常放送、特定目的の地区説明会、おでかけ町長室は現在の方法で継続する。年12回発行される広報紙、行政連絡員を通じた回覧配布物のさらなる有効活用を図る。

インターネットのホームページは、24年度より一新されるが、従来以上の情報を盛り込むとともに、携帯電話を用いた登録制の、情報伝達手段の新設を検討する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	102153	情報化対策事業	総務課 企画係
一般	102121	無線広報一般経費	総務課 庶務係

## 主要事業 60 行財政運営の効率化

住民評価点	2.7	(5点満点)
職員評価点	3.1	

目的	対象	佐久穂町		
	意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の実施する事業については、基本的に行政評価システム（PDCAサイクル）等を通して、効率的な行政運営と住民ニーズに即した質の高い行政サービスの提供に努める。</li> <li>安定した財源の確保を図るとともに、限られた財源を重点的・効果的に配分し健全な財政運営に努める。</li> </ul>		
主要事業目標項目 (主指標)	①事務事業シートの推進 ②実質公債費比率 ③経常収支比率	設定目標(値)	①現状維持 ②18%未満 ③80%未満	
		現状(値)	①実施中 ②11.5% ③77.7%	

### 現状と課題

長引く不況を反映し、自主財源である町民税収入が落ち込んでいる。この状況がすぐに好転する材料は見当たらず、引き続き職員一人ひとりが厳しい現実を捉え、歳出の抑制はもちろん、歳入についても新たな財源の確保や町税等のさらなる収納率の向上、受益者負担の適正化に努め、創意と工夫で最大の行政効果を生むよう取り組んでいく必要がある。

実質公債費比率等の健全化判断比率は正常な範囲であり、現時点で危機的な財政状況というわけではないが、合併特例事業、合併算定替の終了による歳入不足に対応できるよう、さらなる歳出削減に努める。

### めざす姿

- 行政評価システム（PDCAサイクル）等を通して、効率的な行政運営と住民ニーズに即した質の高い行政サービスの提供に努める。
- 安定した財源の確保を図るとともに、限られた財源を重点的・効果的に配分し健全な財政運営に努める。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	
町が他の主体に期待すること または外部要因	当町の財政構造を見ると、自主財源は全体の約2割程度で、残りの約8割は地方交付税や国県補助金などである。従って、地方交付税等の見直しが当町の財政に大きな影響を及ぼすことになる。 地方交付税額の確保については、国に求めていく。 投資的関係補助金の一括交付金化

### 町の取組方向

- 質の高い行政の実現と住民の視点に立った成果重視の行政運営を目指し、行政評価システムの運用・推進を図る。必要に応じて、財政運営適正化計画の策定を行う。
- 町債の繰上償還や、計画的な町債の借り入れ等により、公債費の削減に努めながら、後年度負担額の軽減を図る。
- 投資的経費については、町財政状況を念頭に置き、事業の緊急度、重要度、有効度などを十分に検証し、コスト削減に努める。
- 町有の土地・建物等の適正な維持管理を図るとともに、有効活用について検討し、積極的な取組を図る。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	112110	長期債元金償還金	総務課・財政係
一般	112120	長期債利子償還金	総務課・財政係

## 主要事業 61 地域の連携・交流の推進

住民評価点	2.8	(5点満点)
職員評価点	2.7	

目的	対象	住民・行政区		
	意図	住民相互の積極的な交流や連携の促進、住民間の融和		
主要事業目標項目 (主指標)	夏祭りの実施 区長を中心とした自治会活動の発展	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

限界集落の増加や伝統行事の衰退など、地域の自治活動に支障が生じている。若者の流出に歯止めをかけ地域が活性化するための方策が急務である。

### めざす姿

地域で伝承する行事や祭りなどの継承や復活支援に努め、特色ある地域活動によりふれあいが持てる機会を増やし、世代間交流や地域間交流の積極的な推進を図る。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	
町が他の主体に期待すること または外部要因	新たな文化の創造と古き伝統の継承のため、地域における若年層と老荘年層の交流が円滑に行われる必要があり、そのための手段としての自治会活動やイベント活動への積極的な参加を募る必要がある。

### 町の取組方向

- ・「さくほいいずら」の開催により、各世代間交流の機会を設ける。
- ・地区の自治会活動の活性化を図るため、活動助成金の交付をする。
- ・その他、町や地区で開催するイベントへの参加を推進する。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	102171	自治振興一般経費	総務課 庶務係

## 主要事業 62 他地域と連携交流の促進

住民評価点	2.7	(5点満点)
職員評価点	2.7	

目的	対象	佐久穂町民、府中市民		
	意図	佐久穂町と府中市の相互理解の促進と交流を深める		
主要事業目標項目 (主指標)	両市町民の交流事業の促進	設定目標(値)		
		現状(値)		

### 現状と課題

昭和48年度より継続して実施されており、両市民間の交流、府中市における佐久穂町特産物の認知度が定着してきている。姉妹都市としての府中市を認知度を上げるための活動や多くの町民が参加できる事業を増やしていく必要がある。

### めざす姿

姉妹都市としての府中市の認識や交流をより深めるとともに、小中学生、民間団体（スポーツや文化団体等）や個人（農林業体験）など幅広い分野での自発的な交流が活発になっていくことをめざす。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	佐久穂姉妹都市交流協会
	府中市、府中友好都市交流協会
町が他の主体に期待 すること または外部要因	

### 町の取組方向

佐久穂姉妹都市交流協会を中心に、府中市、府中友好都市交流協会と連携し、各種団体等の交流窓口になることができるよう準備を進める。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	102110	総務一般経費	総務課 庶務係

## 主要事業 63 定住自立圏の取組み

住民評価点		(5点満点)
職員評価点		

目的	対象	町民		
	意図	佐久地域定住自立圏を活用し、住民の利便向上と経費の節減に努める。		
主要事業目標項目 (主指標)	取組み事業数	設定目標(値)	一つ以上の取組みがなされていること。	
		現状(値)	未取組み	

### 現状と課題

平成24年1月に、中心市である佐久市外2市9町村で佐久地域定住自立圏協定が締結された。24年度より3政策分野11施策分野18取組み事項について、具体的事業の協議が始まる。

それぞれの事業等は、各課・係が対応するが、圏域全体はもちろんのこと、町にとっての実効性が担保できるよう協議を進めるべきである。

### めざす姿

協定した取組みが有効に機能し、圏域住民の利便性が向上するとともに、町単独で事業を行う場合に比較し、スケールメリットにより、経費負担が軽減されること。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の 関係機関	佐久地方事務所企画振興係
	佐久市役所企画課
	佐久圏域構成市町村
町が他の主体に期待 すること または外部要因	参加市町村が、各種協定事項が有効に機能するための体制づくりを進める。

### 町の取組方向

「生活機能の強化」、「結びつきやネットワークの強化」、「圏域マネジメント能力の強化」という政策分野ごと18事業の連携を図る。基本的に全項目の取組みに参加していくが、事業実施により町に利益が生じるよう、十分な事業協議を行うことが重要である。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
		各担当課予算により対応	

## 主要事業 64 男女共同参画の推進

住民評価点	2.7	(5点満点)
職員評価点	3.0	

目的	対象	住民・企業	
	意図	男女がお互いを尊重し、より一層のびやかに暮らせる社会、環境づくりをめざす。	
主要事業目標項目 (主指標)	佐久穂町男女共同参画計画を策定し、男女共同参画を育む環境づくり	設定目標(値)	策定及びその運用
		現状(値)	未策定

### 現状と課題

男女共同参画推進団体を中心に講演会や研修会への参加及び開催し、男女共同参画実現に向けた礎づくりを進めてきた。しかし、性別による伝統的で固定的な役割分担意識が残っており、家庭においては育児や介護、家事など女性が多くを担ってきた。これからは、男性も家庭に目を向け、女性も男性も仕事と家庭が両立できる環境づくりが必要である。

### めざす姿

男女がお互いに人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、個性と能力を充分発揮できる社会の構築に向けて、子育て支援と合わせ、男女の固定的な役割分担意識にとらわれないために、佐久穂町男女共同参画計画を策定して男女共同参画を育む環境づくりを進める。男女共同参画推進団体への財政的補助を含む育成援助を行うことにより、団体が男女共同参画社会実現への核となるよう努める。

### めざす姿を実現するための外的要因等

国県その他の関係機関	長野県企画部人権・男女共同参画課
	男女共同参画センター“あいとぴあ”
町が他の主体に期待すること または外部要因	

### 町の取組方向

- ・ 県関係機関の指導の下、町の関係機関と調整を行い佐久穂町男女共同参画計画の策定を進める。
- ・ 男女共同参画を育む人権学習を推進する。
- ・ 企業・事業所等への啓発活動を行う。
- ・ 子育て支援事業との連携を図る
- ・ 女性の政策・方針決定の場への登用支援を行う。

### 主要事業の目的を達成する事業区分（事業別予算事業）

会計名	事業コード	事業名	主管課・係
一般	103130	男女共同参画推進事業	住民税務課・人権政策係



佐久穂町総合計画  
後期5か年基本計画

平成24年3月

発行 佐久穂町

編集 総務課企画係

〒384-0697 長野県南佐久郡佐久穂町大字高野町569番地